

アーム式草刈機

乗用管理機用モーター

取扱説明書

TM-BSA650

適用機種 : BSA - 650LDE - TM
BSA - 650LDH - TM

文書コード : T39809020 - 2

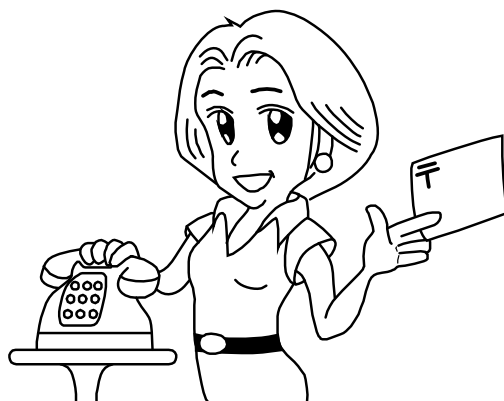


**ご使用前に必ずお読みください。
いつまでも大切に保管してください。**

このたびは弊社製品を お買い上げいただきありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は本製品の正しい取扱方法と簡単な点検および手入れについて説明しています。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき十分理解され、本製品を最良の状態で正しく安全に使用するためにご活用ください。
- お読みになったあとも、この取扱説明書を必ず大切に保存し、分からない場合は理解されるまで十分お読みください。
- 本製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または当社の営業所・販売店・農協（JA）にご注文ください。
- なお、品質・性能向上などの理由で、使用部品の変更をおこなうことがあります。その際には、本書の内容および写真イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げ店か、お近くの販売店・農協（JA）またはサービス工場にご相談ください。
- 下記マークが付いた項目は、安全上特に重要な項目ですので必ずお守りください。



危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告に従わなかった場合、けがを負うおそれのあるものを示します。

取扱注意

その警告に従わなかった場合、製品の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

補足

その他、使用上役立つ補足説明を示します。

目次

項目	ページ
安全に作業をするために	1
安全表示ラベルとその取扱いについて	14
本製品の使用目的について	19
補修用部品の供給年限について	19
アフターサービスについて	19
各部のなまえ	20
仕様表	22
グリスアップ箇所	24
操作方法	
操作する前に	25
アームの操作	26
モーターの回転	27
アームの旋回方法	28
モーターの旋回方法	29
アームの格納方法	30
アームの展開方法	33
刈り高さ調整方法	36
モーターの装着・離脱	
装着・離脱時の注意	37
装着・離脱	38
使用前の点検	43
草刈り作業について	44
モーターの上手な使い方	45
刈り高さと走行速度	47
上下二段の4枚刃	47
刈り刃の交換	48
刈り刃の交換要領	49
点検整備について	51
Vベルトの交換および調整	52
点検整備一覧表	54
適正締付トルク表	55
保管方法	57
消耗部品と交換時期	58
トラブルシューティング	59

⚠️ 安全に作業をするために

- モアーを安全に使用していただくために、ここに記載されている注意項目を必ず守ってください。
- 下記の注意項目を守らないと、死亡を含む傷害や事故、製品の破損が生じるおそれがあります。

一般的な注意

⚠️ 警告

モアーを使用する前に、必ず本書とすべての安全指示をよく読み、理解した上で使用する

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、ハイクリブーム・モアーの破損につながるおそれがあります。



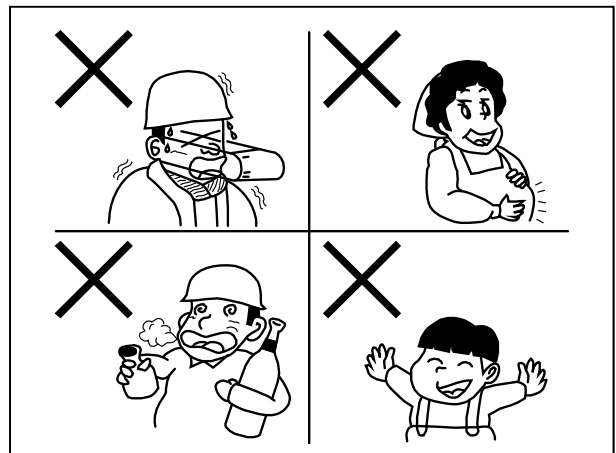
⚠️ 警告

こんなときは運転しない

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- 酒を飲んだとき。
- 妊娠しているとき。
- 本書およびラベルの内容が理解できない人や子供。

【守らないと】

死傷事故につながるおそれがあります。



必ず読んでください

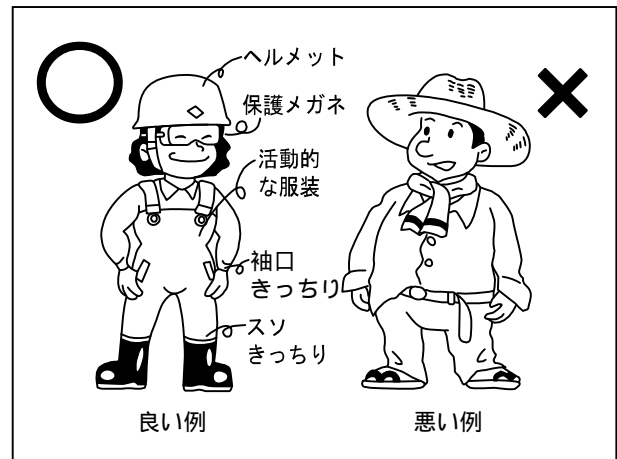


作業に適した服装をする

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。ヘルメット・保護メガネ・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装をしてください。

【守らないと】

滑って転倒したり、製品の回転部に巻き込まれて死傷するおそれがあります。

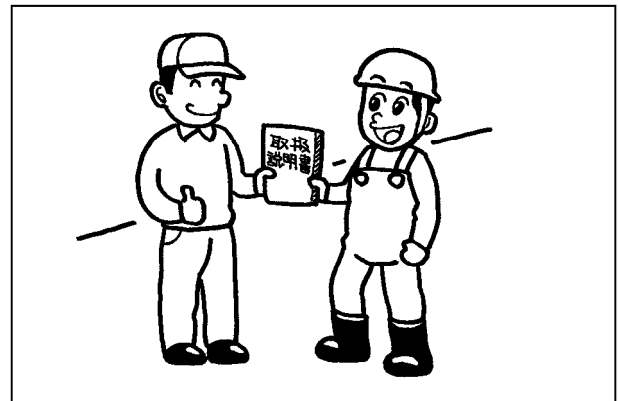


製品を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前にハイクリブーム・モアーの「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

死傷事故や重大な傷害事故となるおそれがあります。



モアーの改造禁止・カバー類の取りはずし禁止

- 改造をしないでください。
- 純正部品でないもの、または指定以外の部品を取り付けしないでください。
- カバー類をはずした状態で作業しないでください。

【守らないと】

傷害事故やハイクリブーム・モアーの破損につながるおそれがあります。

装着・離脱時

注意

モア-の装着・離脱は硬くて平らな地面上で、
十分な広さのある場所でおこなう
モア-の可動部に体や手足を入れない

【守らないと】

モア-が転倒し、傷害事故となるおそれがあります。

格納・作業移行時

注意

モア-の可動部に体や手足を入れない（特に
モア-を90°傾けた時）
必要な時以外はエンジンを停止する（OFF）

【守らないと】

ハイクリブームとア-ムの間にはさまれるなど、
傷害事故につながるおそれがあります。

取扱注意

モア-を格納した状態の時にエンジンをか
けたまま「縮」操作をしない

【守らないと】

ハイクリブームやモア-が変形、故障するおそれ
があります。

必ず読んでください

作業をする前に

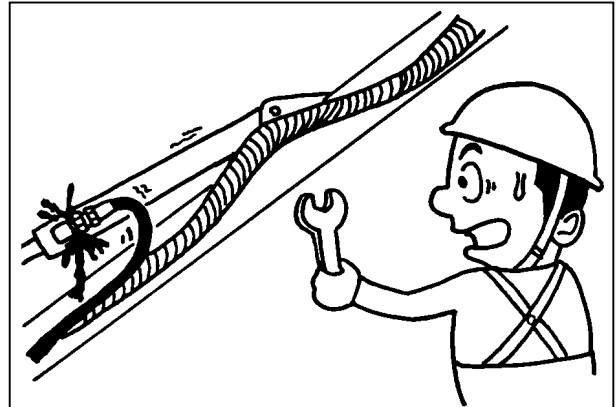


モアーを操作する前に油圧配管のネジ部をしっかりと締める

安全のため、油圧ホースは2年毎に交換してください。

【守らないと】

継手やホースがはずれたり抜けたりしてアームが急降下し、死亡事故を含む傷害事故となるおそれがあります。

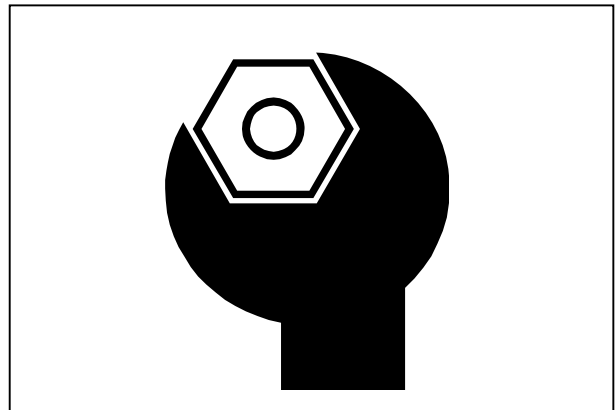


作業する前に必ず下記の点検をおこなう

- 各部ボルト・ナットのゆるみ・脱落
- 各部ピンの脱落
- 刈り刃取付ボルトのゆるみ・脱落
- 各部の油漏れ
- ハイクリブーム側の燃料の量
- ハイクリブーム側エンジンオイル、エレメントの汚れ

【守らないと】

死亡事故や重大な障害事故、モアーの破損につながるおそれがあります。



回転部にグリスアップする
その他、破損箇所(材料・溶接割れなど)がないか確認する

【守らないと】

傷害事故やモアーの故障・破損につながるおそれがあります。

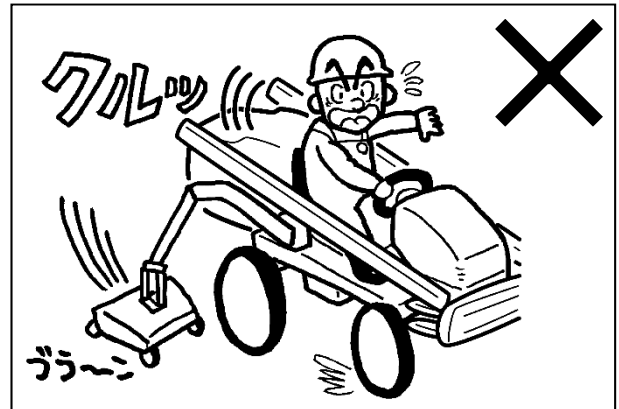
作業時

危険

アームを伸ばした状態で急旋回しない

【守らないと】

ハイクリブームが転倒し、死亡を含む重大な傷害事故になるおそれがあります。



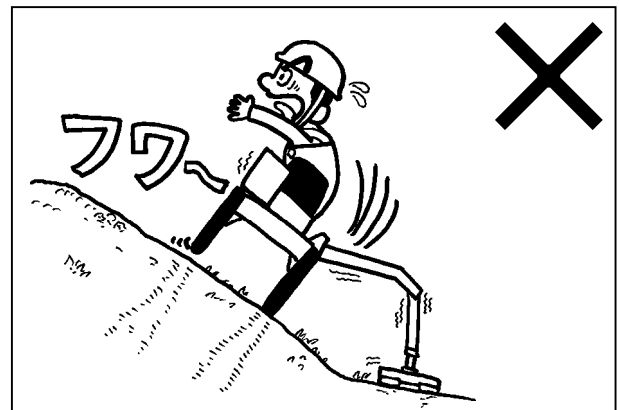
危険

斜面の傾斜に対して横方向や斜めに走行しない

ほ場の出入口や土手の昇り降りなど斜面を走行する場合は速度を低速にし、モアーを格納した状態にし、斜面の傾斜方向に沿って走行してください。

【守らないと】

ハイクリブームが横転・転倒して死亡を含む重大な傷害事故になるおそれがあります。



警告

アームやモアーに人を乗せない

【守らないと】

転落事故をおこして死傷するおそれがあります。



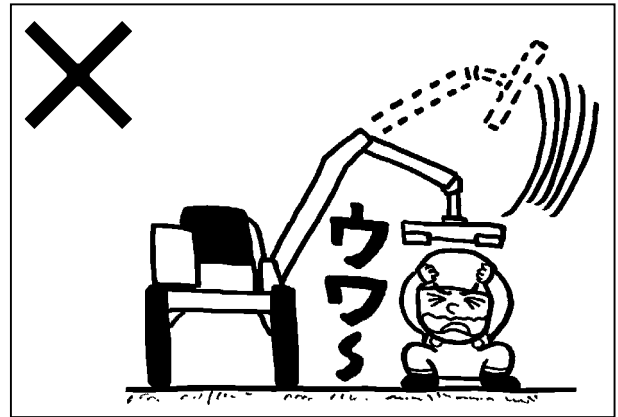
必ず読んでください

警告

モア-の作業範囲内に人を入れない
モア-の下に入れない
特に子供には注意し、ハイクリブームに近づけない

【守らないと】

モア-に当たったりモア-の下敷きになって死傷させるおそれがあります。



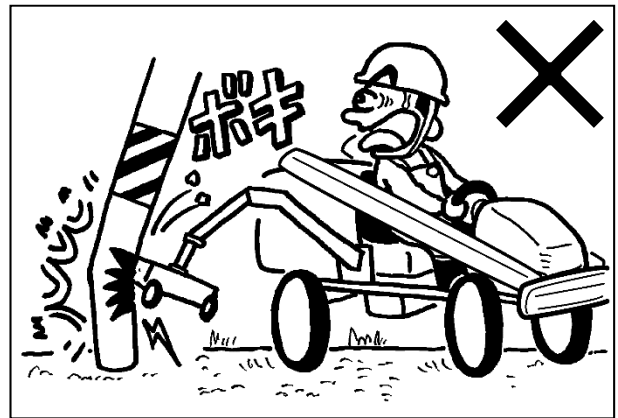
警告

作業範囲内に人や障害物がないことを確認して作業をおこなう

- 操作する前に、モア-の周囲 15m 以内に人がいないことを確認する
- モア-の周囲 15m 以内に人がいるときはモア-を接地させ、作業を停止する
- ハイクリブームを動かしたり、モア-を旋回させるときは、障害物に当たらないようにする
- 死角となる部分にも注意する
- 特に電線付近での作業は、囲いを設けるなどして、感電防止をする

【守らないと】

感電死等の死亡事故を含む傷害事故となるおそれがあります。



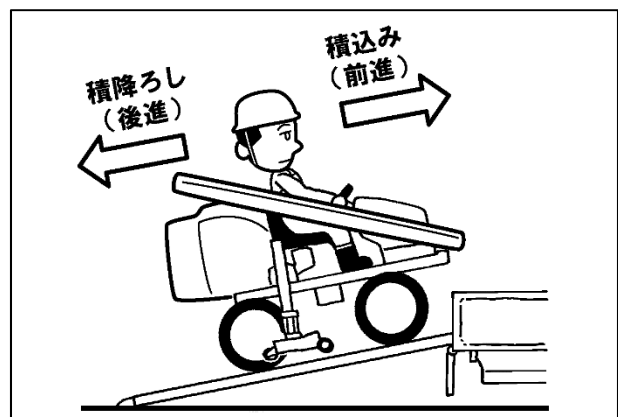
警告

トラック・トレーラに積込み・積降ろしするときは必ず道板（ブリッジ）を使用する
昇るときは前進・降りるときは後進（バック）でおこなう

トラックに積込むときは前進で、降りるときは後進でおこなう

【守らないと】

バランスをくずして転倒事故を引き起こし、死傷するおそれがあります。



警告

高圧油に注意

噴出する油を手足などでさわらない

作業中、ホースや油圧部品から油が噴出した場合は、すぐにエンジンを停止し、モアーを接地させ、油圧回路内の残圧を必ず抜いてください。

【守らないと】

高圧油は皮膚を突き破ることがあり、重大な傷害事故となるおそれがあります。

- 万一噴出した油が目に入ったり、皮膚に浸透した場合は水で洗浄した後、すぐに医師の処置を受けてください。
- 見えない小さな穴からの油もれを探すときは保護めがねをかけ、ボール紙などを利用してください。



注意

モアー前後のフラップ(ゴムカバー)が破損したらすぐに交換する

【守らないと】

飛散した石や破片により傷害事故となるおそれがあります。

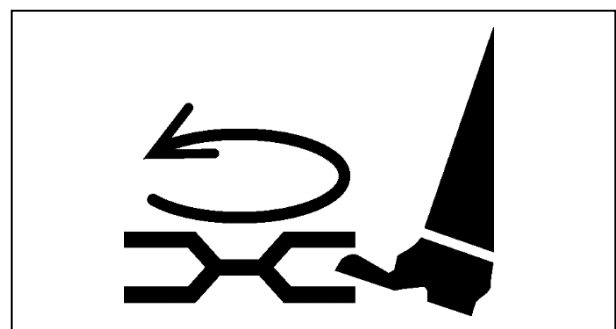


注意

回転部分には手足や衣服を近づけない

【守らないと】

回転に巻き込まれ、傷害事故となるおそれがあります。

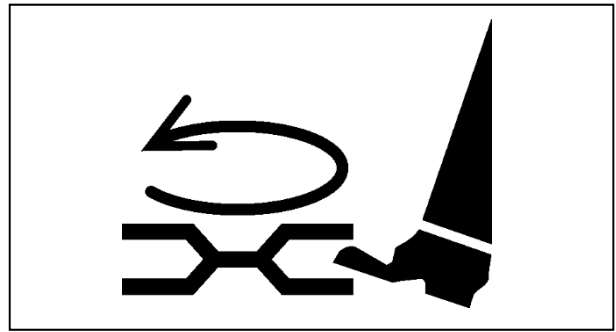


必ず読んでください



絶対にモア-のカバー内に手足をいれない

刈り刃に巻き付いたつる・針金・ビニール・布等を取りのぞくときは、コントロールバルブのモア-オンオフレバーをオフにし、ハイクリブームのエンジンを停止(OFF)し、エンジン キーを抜いて刈り刃の回転が完全に停止した事を確認してから取りのぞく



【守らないと】

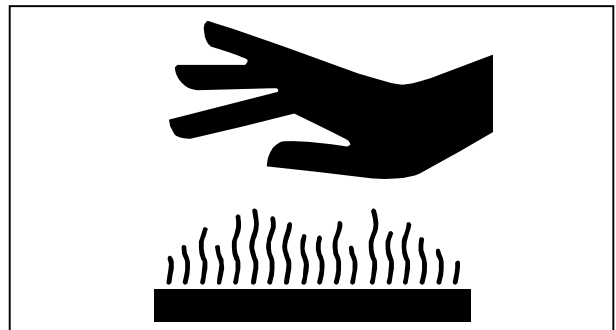
刈り刃の回転に巻き込まれ、傷害事故につながるおそれがあります。



バルブ・油圧ポンプ・シリンダ・油圧タンク等にさわらない

【守らないと】

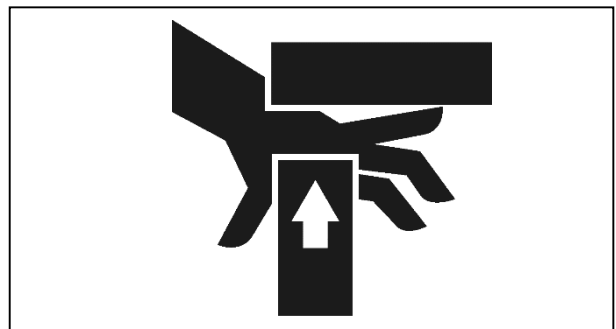
高温のため、やけどするおそれがあります。



フローティングリンク等の可動部にさわらない

【守らないと】

手をはさみ、傷害事故となるおそれがあります。





注意

ハイクリブームをはなれるときは

硬くて平らな場所で
コントロールバルブのモアーオンオフレ
バーをオフにし、
モアーを接地させて
ハイクリブームの駐車ブレーキをかけ、
ハイクリブームの走行レバーを「中立」の
位置にして、
ハイクリブームのエンジンを停止し（OF
F）
エンジンのキーを抜く

【守らないと】

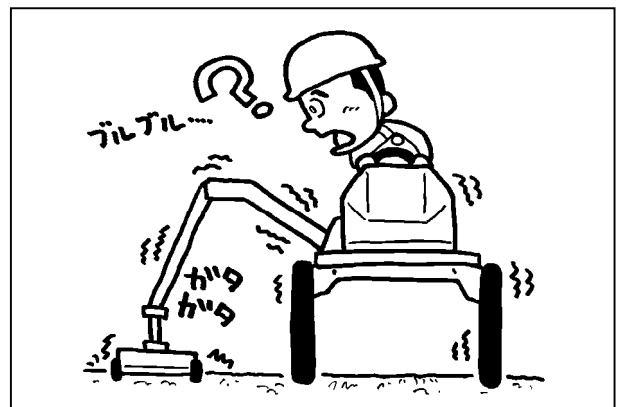
モアーが転倒したりハイクリブームが走り出し、
傷害事故となるおそれがあります。

取扱注意

作業中、モアーより異音・振動音がしたり、
作動がおかしい場合はすぐにハイクリブーム
のエンジンを停止し（OFF）、エンジンキ
ーを抜き、速やかに点検・修理・整備をおこ
なう

【守らないと】

異音や振動音がしたまま、または作動がおかしい
まま大丈夫だろうと作業を続けていますと故障
や破損につながるおそれがあります。



必ず読んでください

取扱注意

刈り刃に草がからまり、刈り刃がひんぱんに停止する場合は、二度刈りする
(45 ページ参照)

【守らないと】

油温が上昇し、油圧ポンプ・モータが破損するおそれがあります。

取扱注意

コントロールバルブが「ビー」と鳴るときは
コントロールバルブのモア-オンオフレバーをオフにし、
ハイクリブームのエンジンを停止し (OFF)
エンジンのキーを抜いて
点検をおこなう

草がからみついてモアの回転が止まったときやシリンダが伸び (縮み) きたときは、リリース弁が働くため「ビー」という音がします。

【守らないと】

油温が上がり、ハイクリブームのポンプやモアの油圧部品が故障・破損するおそれがあります。

取扱注意

バック作業をしない

【守らないと】

ハイクリブームやモアに無理な力がかかり、故障・破損するおそれがあります。

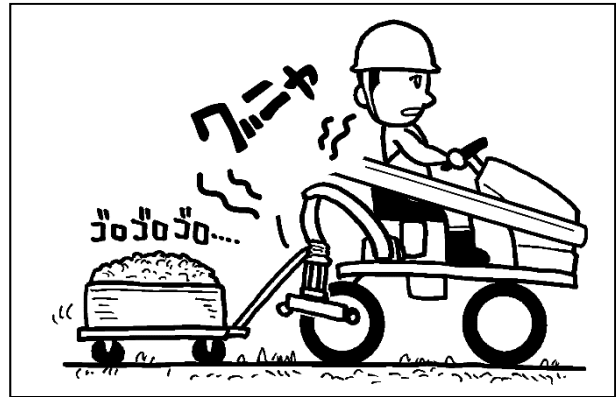


取扱注意

モーターでけん引・押し付け作業をしない

【守らないと】

モーターに無理な力がかかり、故障・破損するおそれがあります。

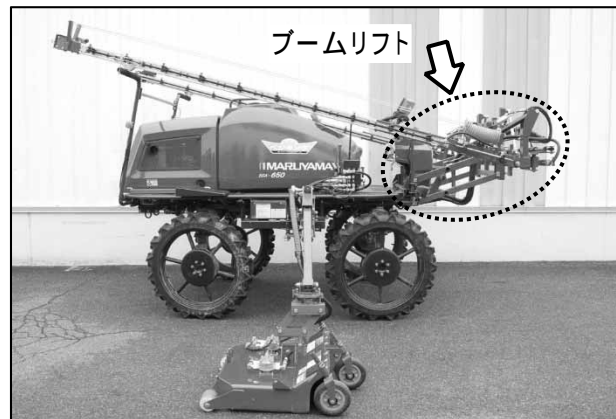


取扱注意

モーター装着時はブームリフト最上昇

【守らないと】

右ブームが、モーターやアームに接触し故障・破損するおそれがあります。



取扱注意

運転は安全運転で

安全な速度で走行する

- 悪路・傾斜地・不整地では特に注意し、無理な運転はしない。
また、そのような場所を走行する場合には、モーターの破損につながるおそれがありますので、スピードを落として走行する。
- 不要なレバー操作はしない。

【守らないと】

ハイクリブームやモーターが故障・破損するおそれがあります。

必ず読んでください

点検・修理時



修理・点検・整備などをおこなうときは

硬くて平らな場所で
コントロールバルブのモア－オンオフレバーをオフにし、
モア－を接地させて
ハイクリブームの駐車ブレーキをかけ、
ハイクリブームの走行レバーを「中立」の位置にして、
ハイクリブームのエンジンを停止し（OFF）
エンジンのキーを抜く

刈り刃等の回転部が完全に停止した後で作業する

作業終了後、取りはずしたカバー類は必ず元通り取付ける

作業中は「修理中」「点検中」「整備中」等の看板をよく見える場所にかけておく

フローティングリンク等の可動部にさわるときは、手などをはさまないように注意する

【守らないと】

アームが下降したりハイクリブームが走り出し、死亡を含む傷害事故となるおそれがあります。



刈り刃の交換は

エンジンを停止し（OFF）

エンジンキーを抜いて、

刈り刃の回転が完全に停止して

からおこなう

刈り刃は直接手でさわらない

（革手袋等の保護具および付属のナイフプロテクタを使用する）

● 刈り刃交換方法は 48～50 ページを参照する

【守らないと】

傷害事故となるおそれがあります。

その他

取扱注意

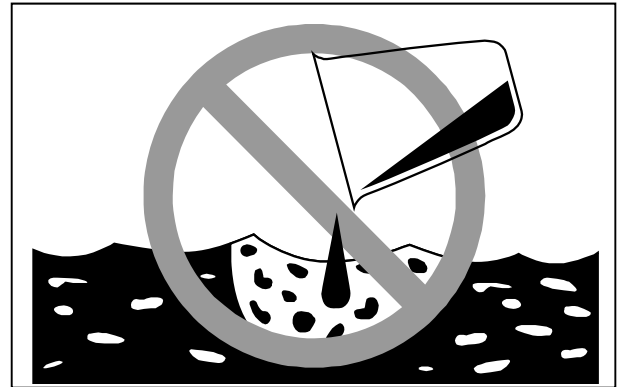
- 長期保管する場合は、雨水のかからない場所に保管する
- やむをえず屋外に保管する場合は、防水シート等かける

【守らないと】

モアーの作動不良・誤作動・錆の発生等の原因となります。

補 足

- 環境汚染を防ぐため、廃棄物の処理については十分注意する
- 廃液は必ず缶・タンクなどの容器に排出する絶対に地面にたれ流したり、川・下水・海・湖等に廃棄しない
- オイル・燃料・冷却水・溶剤・フィルタ・バッテリーなどの有害物を処分するときは、適用される法規・規則に従う



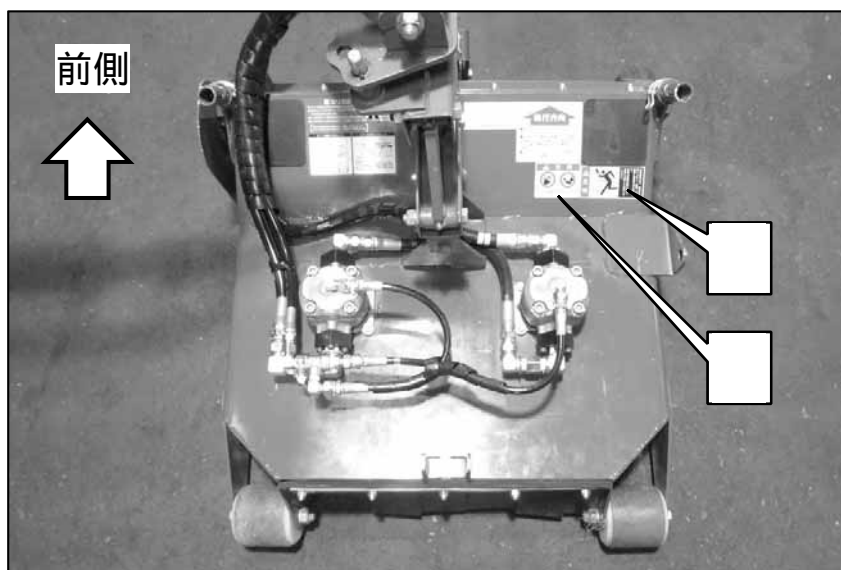
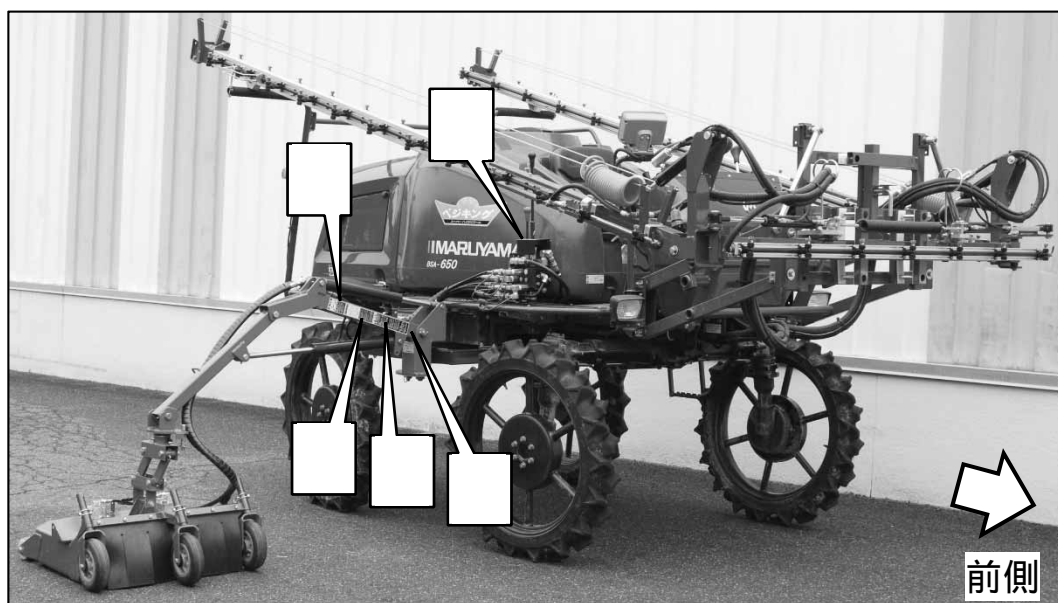
補 足

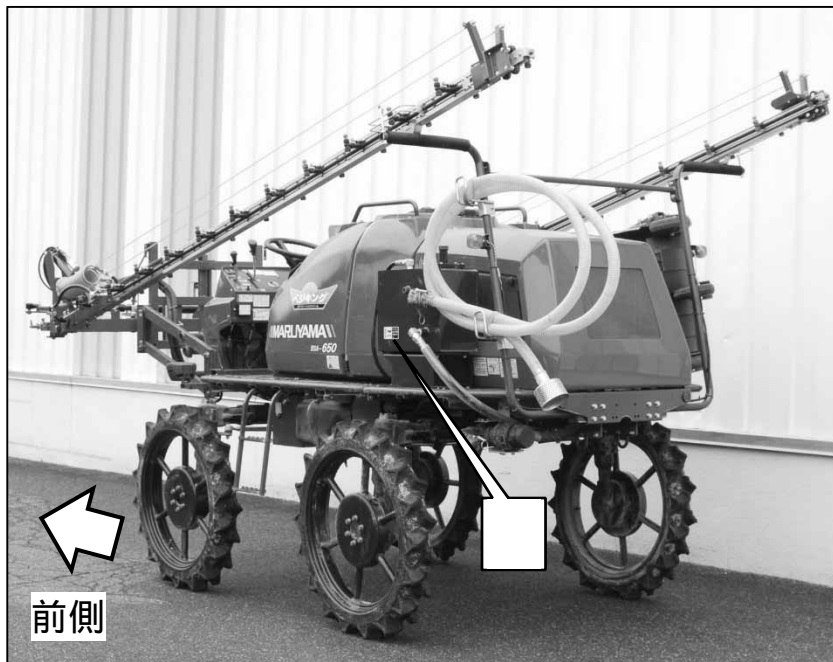
- モアーを操作する前に、必ず操作練習をする
- ボルト・ナットがゆるんでいないか始業点検をする
- 破損や曲がった刈り刃は交換する
また、曲がった刈り刃は使用しない
- モアー作業時、アームやモアーが障害物に当たって負荷がかかった場合は、すぐにハイクリブームを停止する
- 誘導者と共同作業するときは、誘導者の指示に従う
- 部品が破損し、修理できない場合はすみやかに部品を交換する
部品は純正部品を使用する
- 危険な場所および人がいる場所での作業は絶対にしない
- 石や岩がある場所では使用しない
また、刈り取る場所に空きカン・針金・石・布等がある場合はあらかじめ取り除いておく
- 夜間作業はしない
- ハイクリブームおよびモアーには共済組合発行の共済保険もしくは一般保険会社発行の任意保険をかける

必ず読んでください

安全表示ラベルと その取扱いについて

- 安全に作業していただくために安全表示ラベルの貼付位置を示したものです。
- 安全表示ラベルの内容詳細については、16～18ページをご参照ください。
- 安全表示ラベルは、常に汚れや破損のないようにしてください。
- ラベルが汚れている場合は石けん水で洗い、やわらかい布でふいてください。
- もし破損または紛失した場合は、新しいものに貼り替えてください。
- ラベルが貼付されている部品を新部品と交換するときは、ラベルも同時に交換してください。





安全表示ラベルの手入れについて

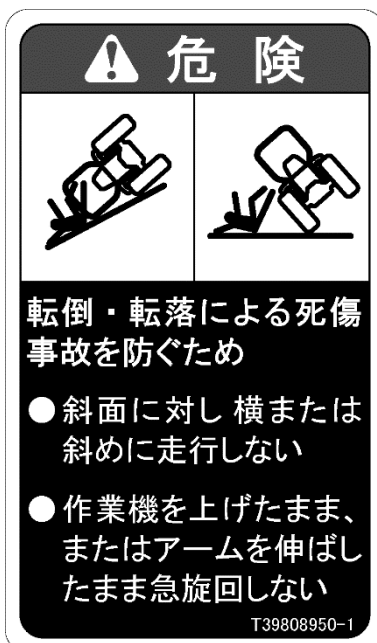
- 破損または紛失された場合は、下表を参考にお買い上げの販売店またはお近くの J A（農協）にご注文ください。

図番	品 番	品 名	個数	適 用	
	50304-0909-1	ラベル	1	危 険	50×100
	50304-0908-1	ラベル	1	危 険	55×70
	T39808950-1	ラベル	1	危 険	85×50
	T39808960-1	ラベル	1	警 告	150×50
	50304-0143-1	ラベル	1	注 意	190×50
	T39808970-1	ラベル	1	作業機定義	20×50
	B10003719-1	ラベル	1	注 意	50×100
	T39808940-1	ラベル	1	取扱注意	30×120




必ず読んでください

安全表示ラベルの内容

モーターに貼付されている安全表示ラベルを下に示します。
なお、文中の「作業機」は、草刈機（モーター）を意味します。



警告


傷害事故を防ぐため

- ヘルメット・保護メガネ等の保護具を使用する
- 作業機の範囲内に人を入れない
- 特に子供には注意し、車両および作業機に近づけない
- 作業機に人を乗せない
- 電線や建物等周囲の障害物に注意する
- 高圧作動油に注意する

作業中 ホースや油圧部品から油が噴き出した場合、すぐにエンジンを停止し、作業機を接地させる

T39808960-1

注意



傷害事故防止のため取扱説明書とすべての安全指示をよく読んで安全で正しい取扱いをしてください。

始動時

- 車両の座席に座り、作業機の操作レバーを「中立」にすること
- 車両の全レバーを「中立」にすること
- 周囲に人がいないことを確認すること
- すべてのカプラ(油圧接続器・装置)を正しく接続すること

運転時

- 運転者以外に人を乗せないこと
- 作業機操作時や旋回時は周囲に人がいないことを確認すること
- 転倒・転落のおそれのある運転や作業はしないこと
- 作業機の可動部分に手足を入れないこと
- 回転部分に手足や衣服を近づけないこと
- パルプ・シリンダ・タンク等高温となるおそれのある油圧部品にさわらないこと

修理・点検時

- 修理・点検等で車両から離れる時は作業機を接地させて操作レバーを「中立」にし、駐車ブレーキをかけてエンジンキーを抜くこと
- 作業機の着脱・修理・点検は硬くて平らな地面で行なうこと

SAN50304-0143-1

- 本製品において、ラベル内文中の「作業機」は「草刈機（モア）」を意味します。

T39808970-1



取扱注意

- モアー格納時は、エンジンをかけたまま“縮”操作をしないでください。フロア破損のおそれがあります。
- 格納時はモアーオンオフレバーを操作しないでください。
- 防除時はモアーを離脱してください。

T39808940-1

本製品の使用目的について

- (1) 本製品は、ほ場・私有地などの路肩や法面、水田・畑などのあぜの草刈りに使用してください。
- (2) 本製品を使用目的以外の作業に使用したり、改造しないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんので注意してください。
- (3) 市販類似品など、純正以外の部品を使用した場合も同様に保証の対象になりませんので注意してください。

補修用部品の供給年限について

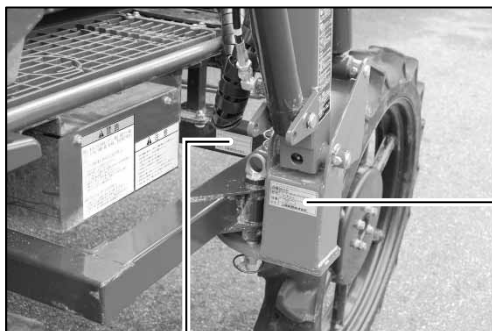
この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。
ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は、納期および価格についてご相談させていただきます。

アフターサービスについて

本製品が故障した場合やの調子が悪いとき、59 ページからの「トラブルシューティング」に従って点検・修理・整備してもなお不具合があるときや本製品に関してご不審な点およびサービスに関するお問い合わせ、部品注文などのご用命は、お買い上げいただいた販売店、JA（農協）またはサービス工場までご連絡ください。

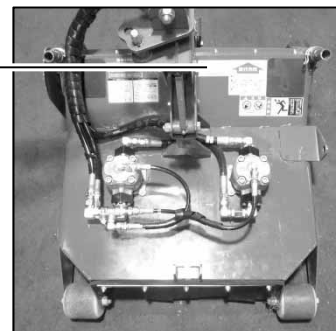
連絡していただきたい内容

- (1) 型式名
- (2) 製造番号（機番）
- (3) 故障内容（できるだけ詳しく）



品名	本機組付部品アッシ
形式	TM-BSA650
機番	持上重量
製造元	三陽機器株式会社

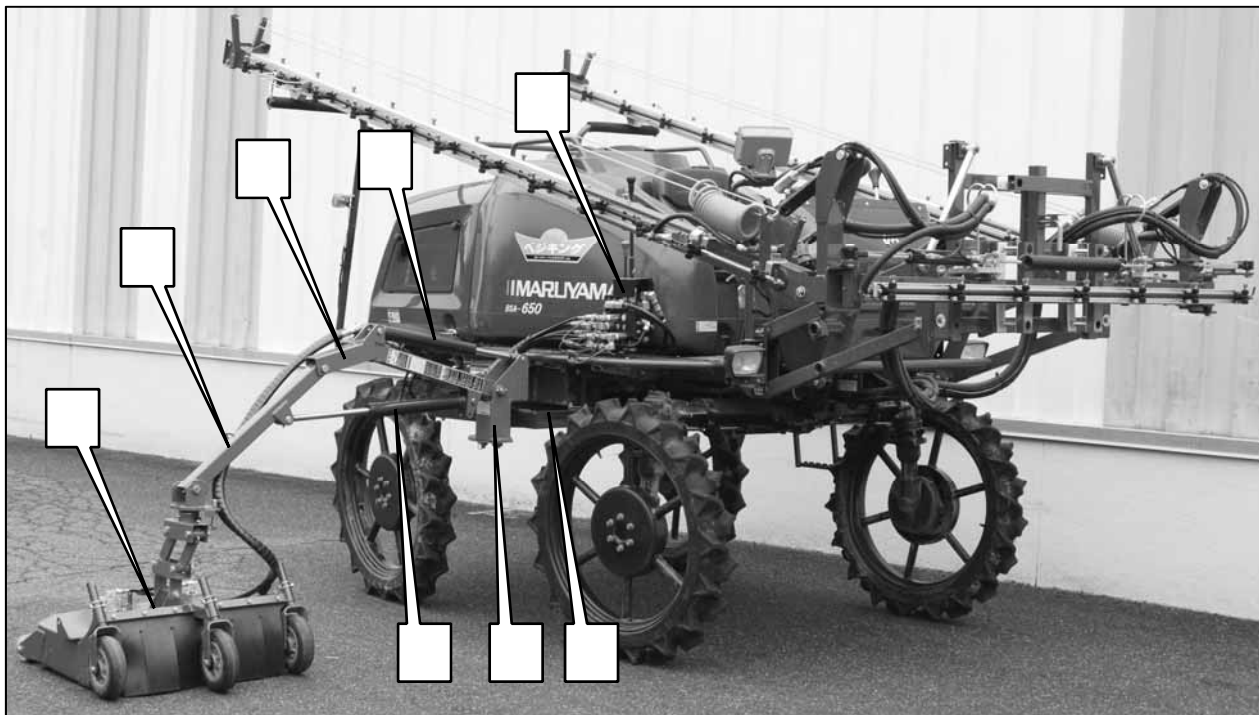
品名	ロータリモア
形式	TRM-601
機番	持上重量
製造元	三陽機器株式会社



品名	離脱部
形式	TM-BSA650
機番	持上重量
製造元	三陽機器株式会社

各部のなまえ

アーム部



コントロールバルブ

アームとロータリモアー（油圧モータ）の制御をおこなうバルブです。レバーを操作することによりアーム・モアーを自由にコントロールできます。（操作方法は 26、27 ページ参照）

シリンダ 1

シリンダ 2

モアー
草を刈る部分です。

フレーム

アームフレーム

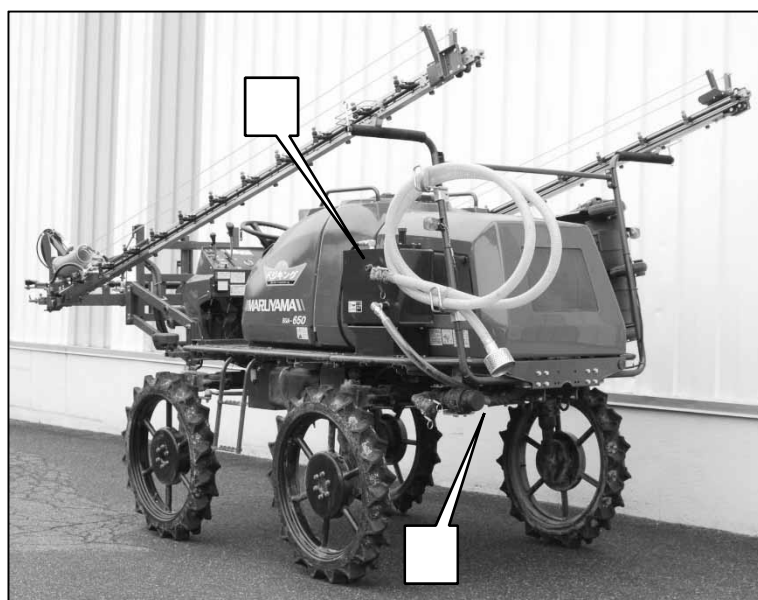
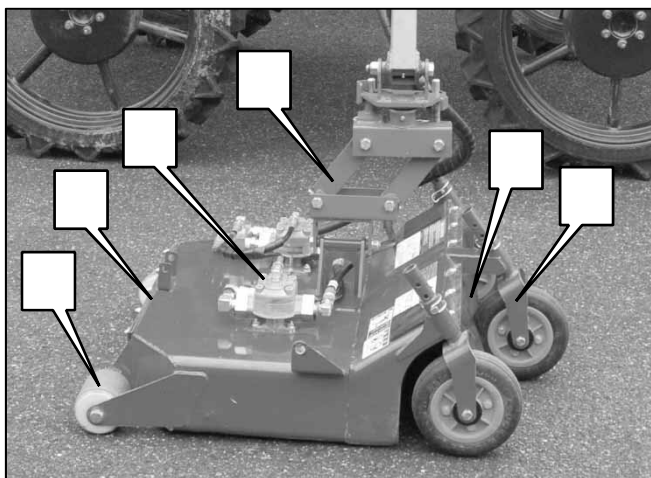
アーム 1

アーム 2

補 足

モアーの形状詳細は、改良等のため予告なく変更することがあります。

モアー部



油圧モータ

刈り刃を高速回転させる油圧部品です。

ガイド車輪

刈り高さを調整します。(36 ページ参照)

ローラ

フロントラッパ

飛散防止のゴムカバーです。

リヤフラッパ

飛散防止のゴムカバーです。

フローティングリンク

ロータリモアーを地面に追従させる機構です。

油圧ポンプ

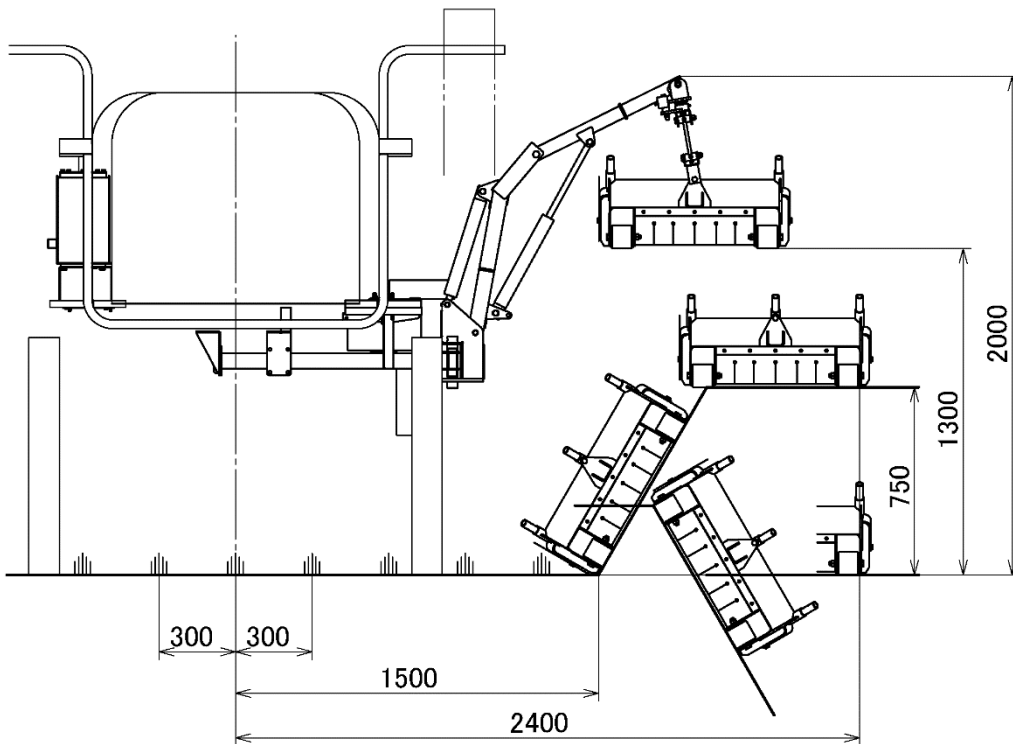
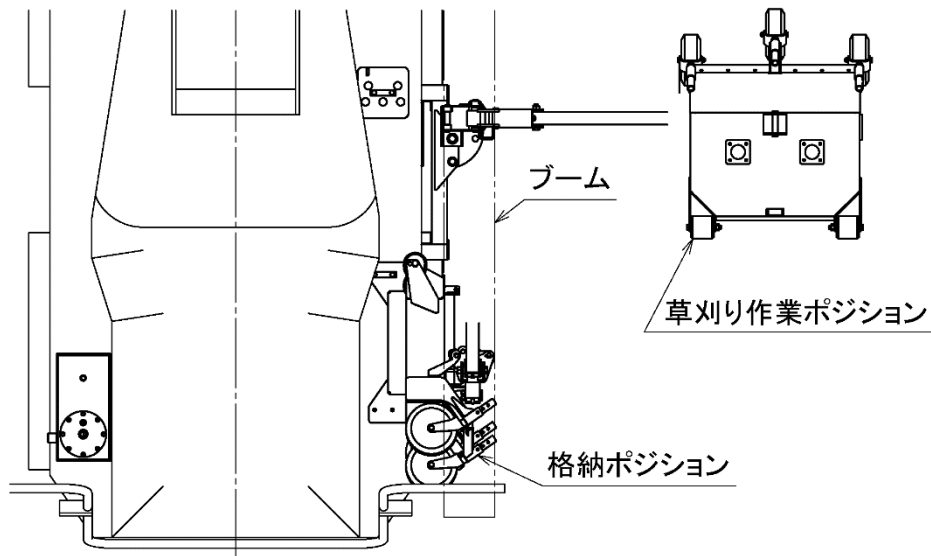
油圧タンク

補 足

モアーの形状詳細は、改良等のため予告なく変更することがあります。

仕様表

アーム部

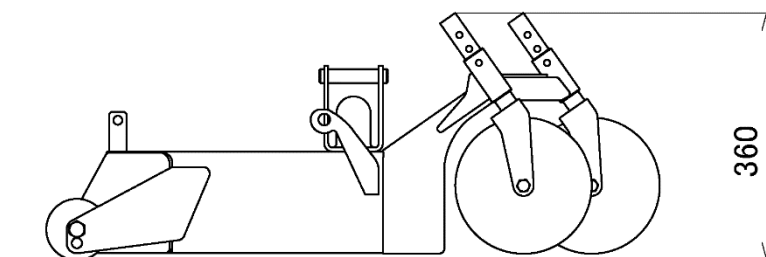
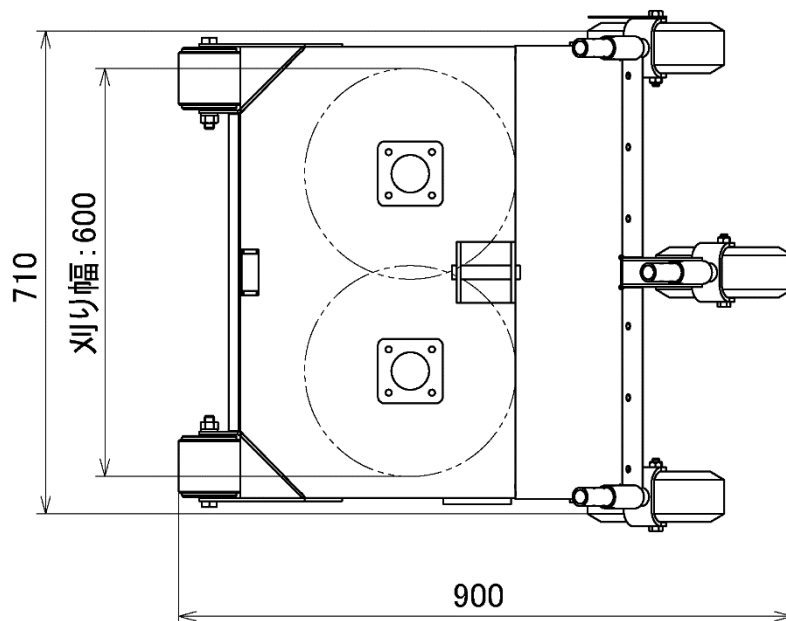


型 式	TM - BSA650
質 量 [kgf]	87 (モーターを含む)

補 足

仕様は改良等のため予告なく変更することがあります。

モア一部



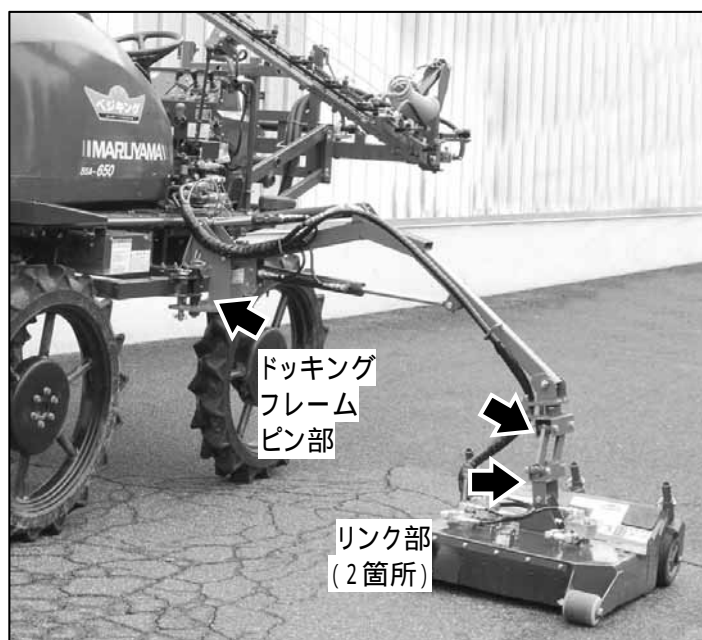
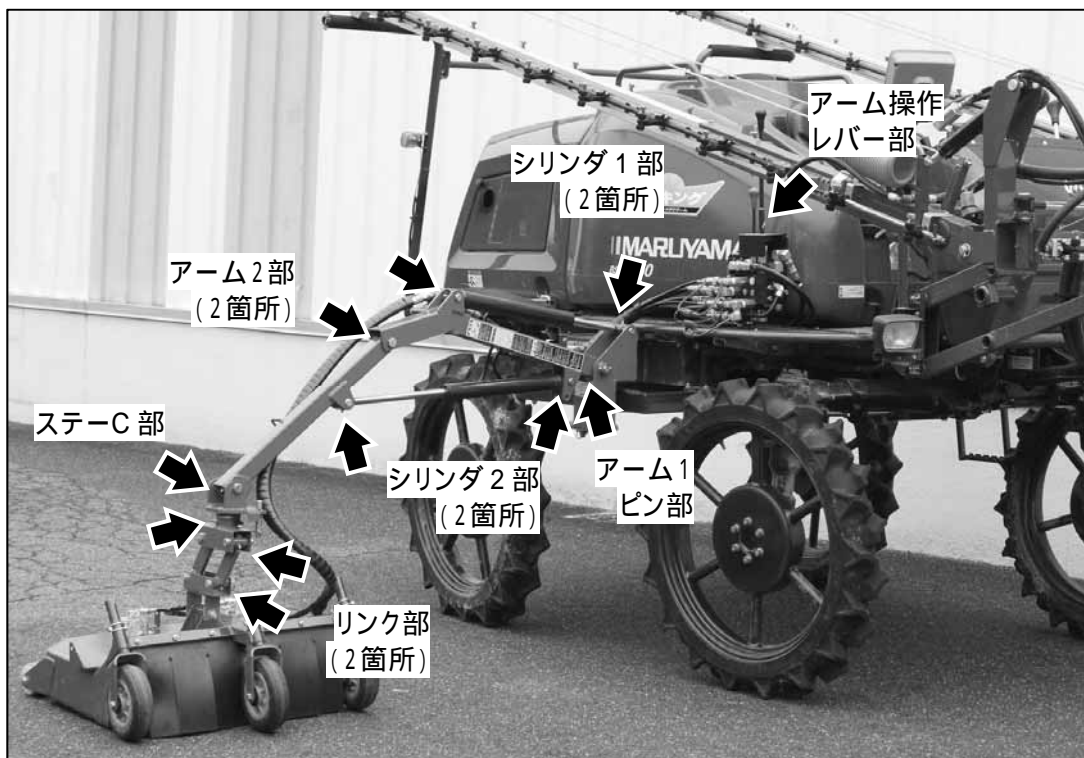
型 式		TRM - 601
刈り幅	[mm]	600 (310 × 4枚)
刈り高	[mm]	3段階 (30, 50, 70)
質 量	[kg]	39
刈り刃回転数	[min ⁻¹ { rpm }]	3,300

補 足

仕様は改良等のため予告なく変更することがあります。

グリスアップ箇所

- グリスアップ箇所は下記の通りです。（計 14 箇所）
グリスはリチウムグリス J I S 分類番号 2 号相当を使用してください。



操作方法

操作する前に

モアーを操作する前に、必ず取扱説明書（本書）をよく読んで、理解してください。
モアーを操作する前に、必ず操作練習をおこなってください。

- モアーを操作する前に、ハイクリブームの操作・運転を習得してください。

- モアーを安全に操作するために、下記の内容に従って操作方法を身に付けてください。
 - (1) 操作練習は、平坦で安全な場所を選んでください。
 - (2) アーム側の操作を習得したらモアーを回転させない状態にて、ハイクリブームで走行しながら障害物を避ける練習をしてください。
ハイクリブームの走行速度は 1 km/h 以下でおこなってください。
 - (3) 実際に草を刈りながら（刈り刃を回転させながら）操作してください。

アームの操作

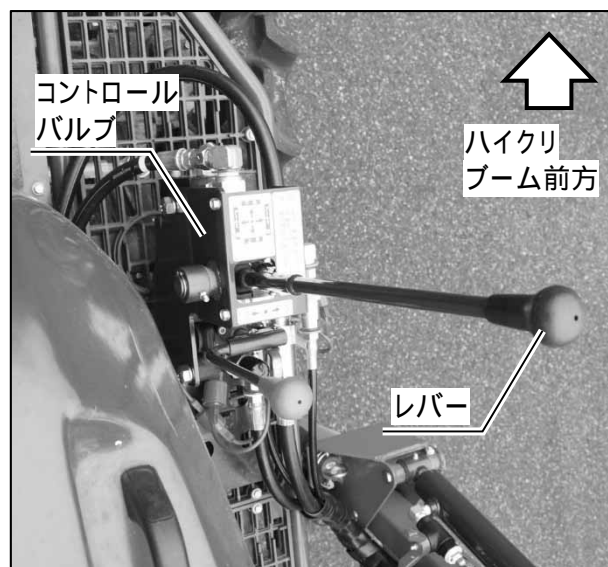
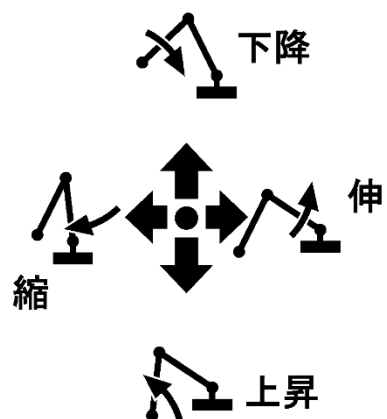
- アームはコントロールバルブのレバーで操作します。

アームを上げる ⇒レバーを手前に倒す

アームを下げる ⇒レバーを前方に倒す

アームを縮める ⇒レバーを左側に倒す

アームを伸ばす ⇒レバーを右側に倒す

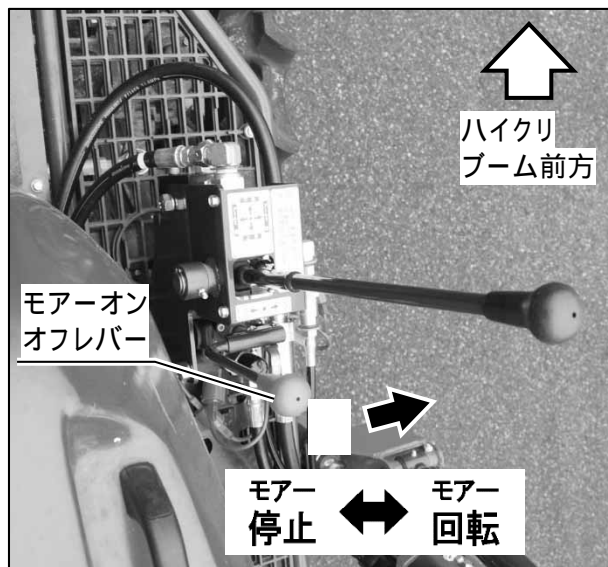


モアの回転

モアを地面と水平に接地させる。

コントロールバルブのモアオンオフレバーをオンにする。(アーム側へ倒す)

刈り刃が回転しはじめます。



補 足

草刈り作業はエンジン回転数MAXでおこなってください。

車速は0.7 ~ 1.5 km/h でおこなってください。

(目安: 副変速レバー「散布」+HSTレバー「前進一段階」)

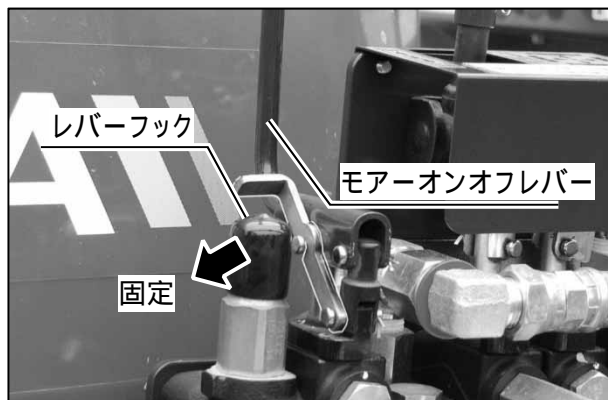
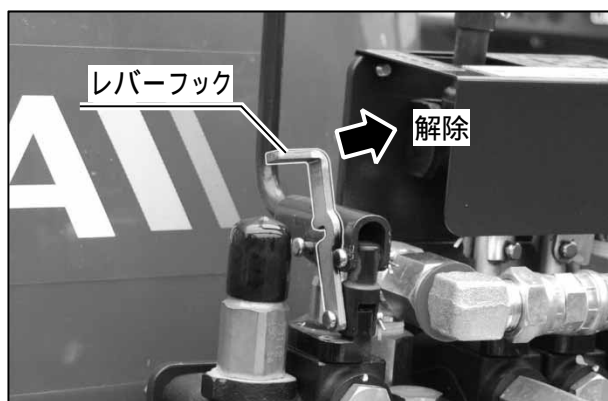
レバーの固定

移動や格納・保管時等モアを使用しないときは、誤操作防止のためレバーを固定してください。

モアオンオフレバーをオフにする。
(運転席側へ倒す)

レバーフックをレバーのピンに引っかける。

再びモアを使用するときは、レバーフックをピンから取りはずす。



アームの旋回方法

取扱注意

- 刈り刃の回転が完全に停止していることを確認してから操作してください。
- 必ず平坦な場所で、フレームを地面と水平にしてください。

コントロールバルブのレバーを「上昇」に操作し、モアを地面から離す。

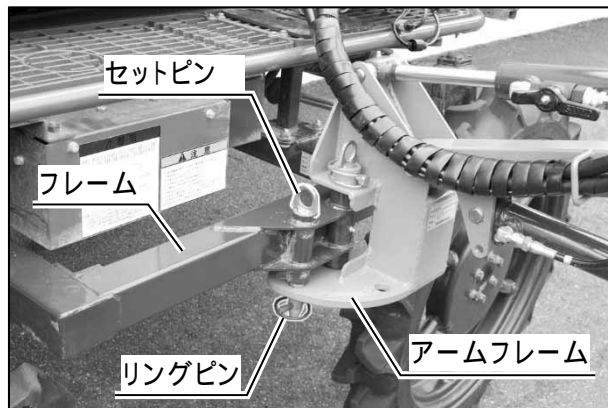
リングピンを抜く。

セットピン を抜く。

アームを旋回させる。
(右前 20° , 右後 90° まで旋回可)

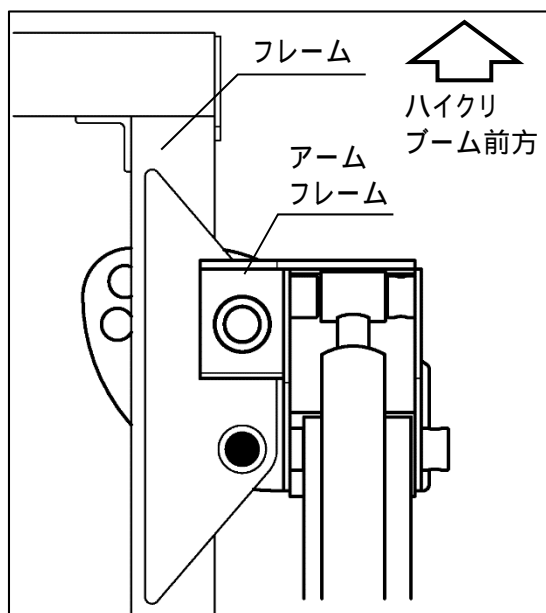
アームフレームとフレームの穴合わせをした後セットピン を再び差し込む。

リングピンを再びセットピン に取付ける。



補 足

格納する場合は、●印の穴のポジションを使用してください。



モアの旋回方法

取扱注意

コントロールバルブのモアオンオフレバーをオフにし（運転席側へ倒す）刈り刃の回転が完全に停止していることを確認してから操作してください。

コントロールバルブのレバーを「上昇」に操作し、モアを地面から離す。

補 足

作業しやすい高さまでモアを上げてください。

スナップピンを抜く。

モアセットピン を抜く。

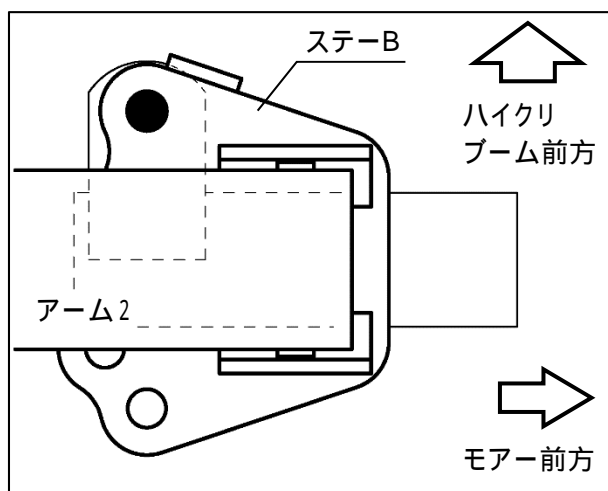
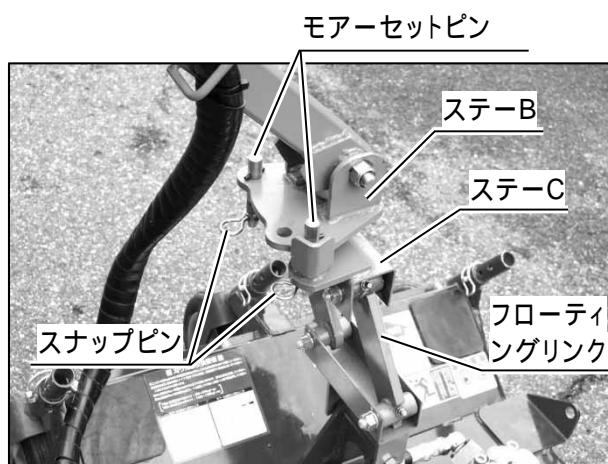
モアを旋回させる。

モアを「進行方向」に合わせ、ステアB、C間の穴合わせをした後、モアセットピンを再び差し込む。

スナップピンを差し込みモアセットピンの抜け止めをする。

補 足

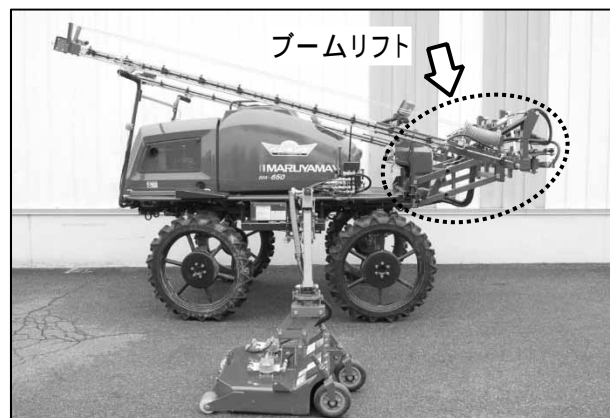
格納・離脱する場合は、●印の穴のポジションを使用してください。



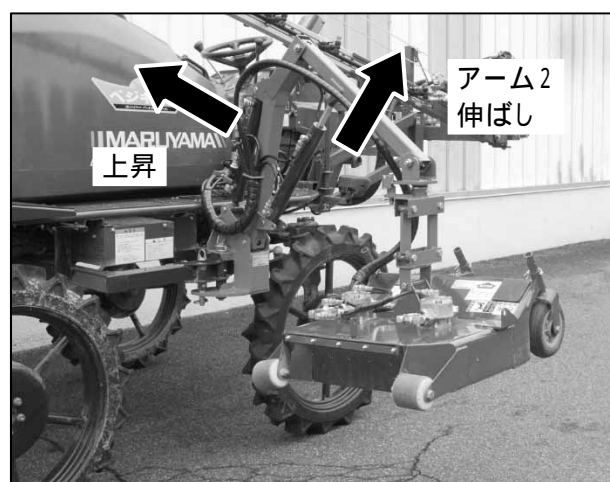
アームの格納方法

取扱注意

- 刈り刃の回転が完全に停止していることを確認してから操作してください。
- 格納時にモアーを回転させないでください。
- モアーを格納した状態の時にエンジンがかけたまま「縮」操作をしないでください。
- ブームリフトは最上昇させ、ブームとアームが干渉しないようにしてください。



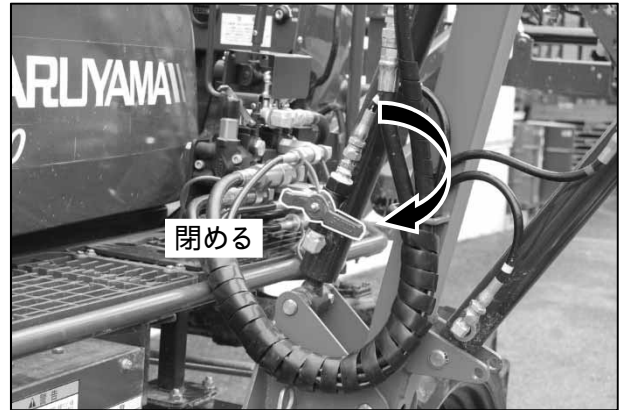
(1) エンジンをかけ、アーム1を最上昇させる。



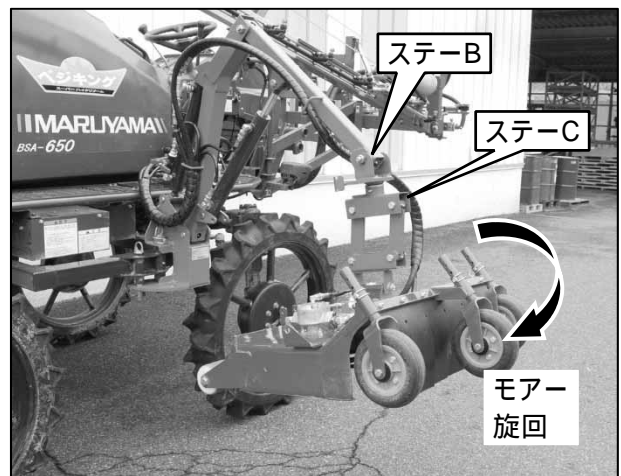
(2) アーム2を伸ばし、作業しやすい高さまでモアーを上げる。

(3) エンジンを停止する。

(4) シリンダ1のストップバルブを閉める。



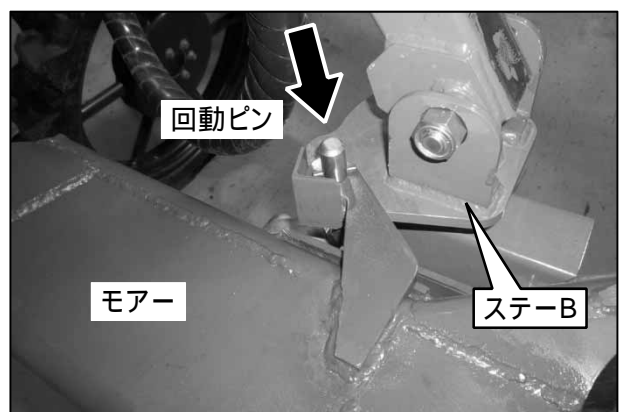
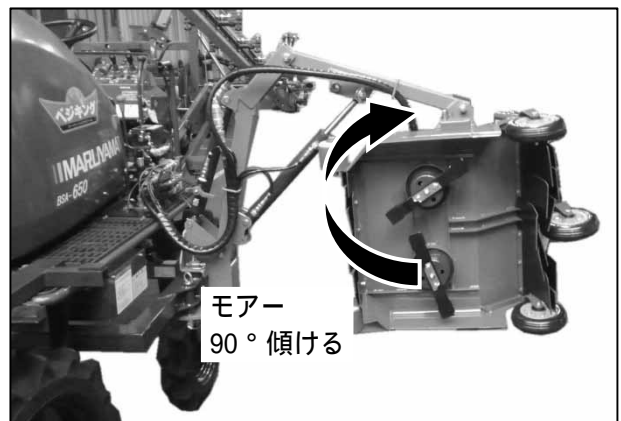
(5) モアー回転ピンを2本ともはずしてモアーを90° 右に旋回させ、回転ピン1本でステアーBとCを固定する。(モアーのガイド車輪が外側を向くように)



(6) モアーの右側を持上げ、90° 傾けてステアーBに引っ掛け、2本目のアーム回転ピンでステアーBとモアーを固定する。

補 足

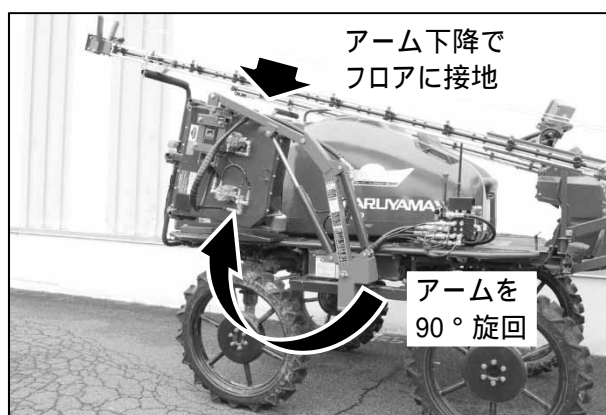
この時、モアー右側面のUPラベルの辺りを持って持上げてください。その他の部分ではケガをするおそれがあります。



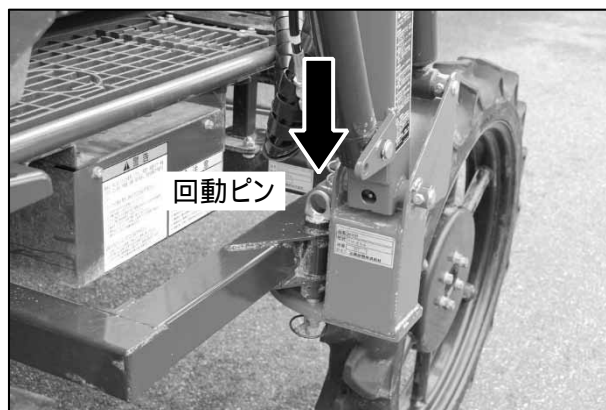
(7) エンジンをかける。アーム2を伸ばしきり、エンジンを切る。



(8) アームフレーム回転ピンをはずし、アーム全体を90° 右後ろに旋回させる。



(9) アームフレーム回転ピンを再度取付ける。エンジンをかけずにアーム2を縮めて (残圧を抜いて) モーターをフロアに接地させる。

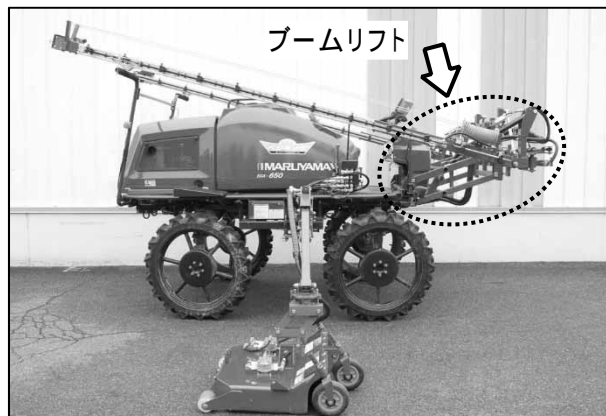


以上で格納完了です。

アームの展開方法

取扱注意

- 作業中にモアーを回転させないでください。
- ブームリフトは最上昇させ、ブームとアームが干渉しないようにしてください。



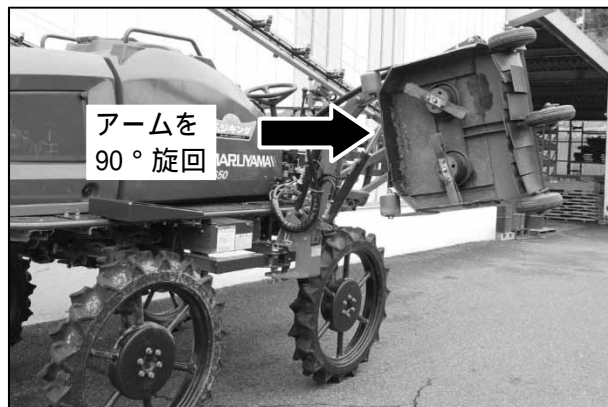
(1) エンジンを始動する。

(2) アーム2を伸ばしてモアーをフロアから浮かせる。

(3) エンジンを停止する。

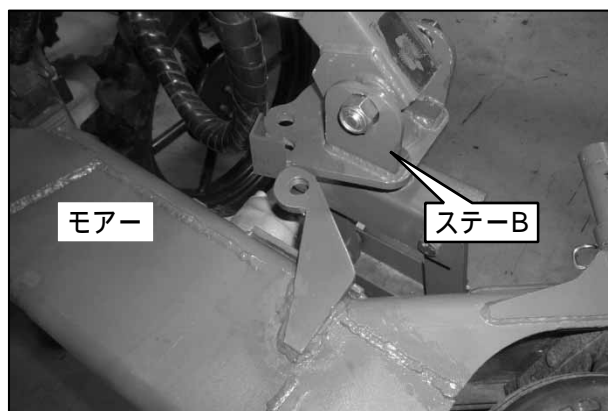


(4) アームフレーム回転ピンをはずし、アーム全体を 90° 右に旋回させる。

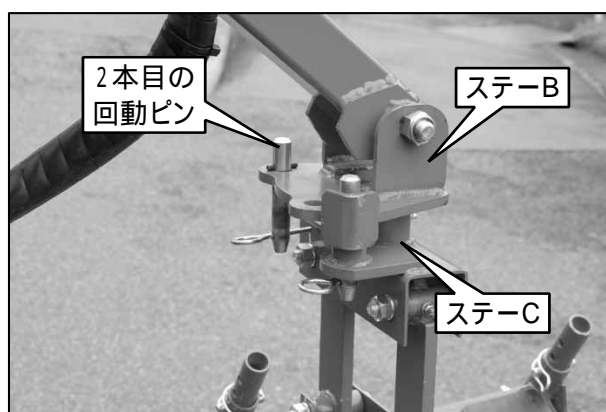
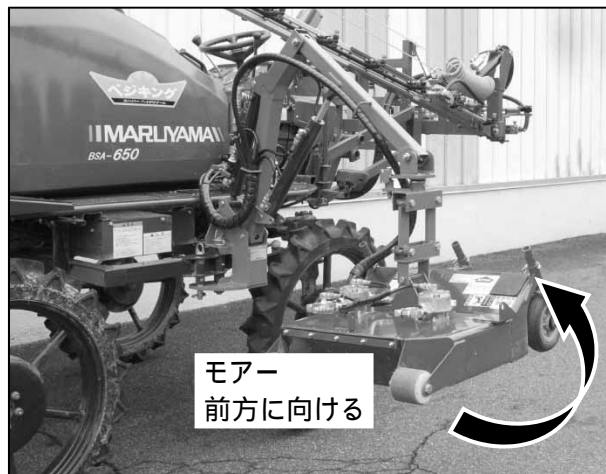


(5) アームフレーム回転ピンを取付ける。

(6) ステアBとモアーを固定しているモアー回転ピンを取りはずし、モアーを水平にする。

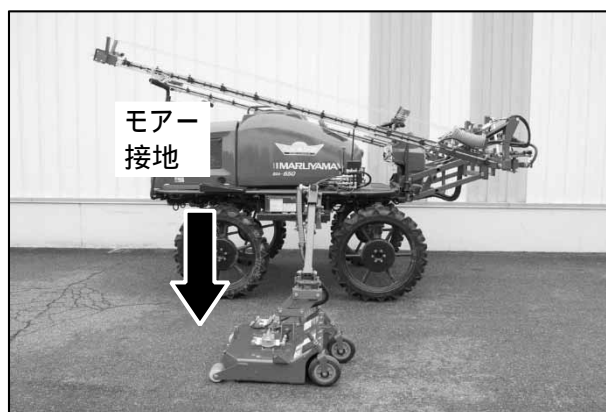


- (7) ステアBとCを固定しているモアー回転ピンをはずしてモアーを90°左に旋回させ、回転ピンでステアBとCを固定する。
(モアーが前側を向くように)
2本目のモアー回転ピンはステアBの前側の穴に挿しておく。



- (8) アーム1とアーム2を操作し、モアーを接地させる。

以上で展開完了です。

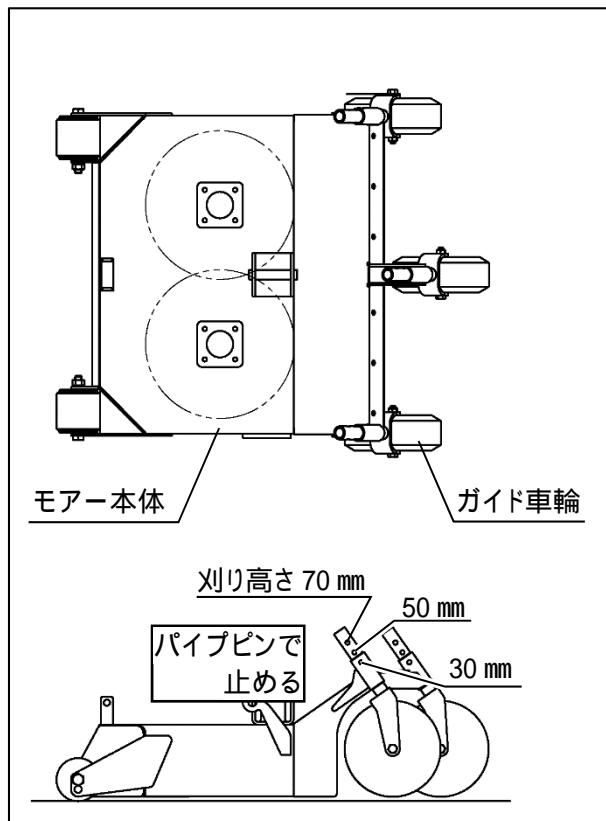


刈り高さ 調整方法

モアー本体と前輪（ガイド車輪）をつないでいるパイプピンをはずす。（3箇所）

前輪（ガイド車輪）を上下にずらし、穴合わせをした後、パイプピンで抜け止めをする。（3箇所）

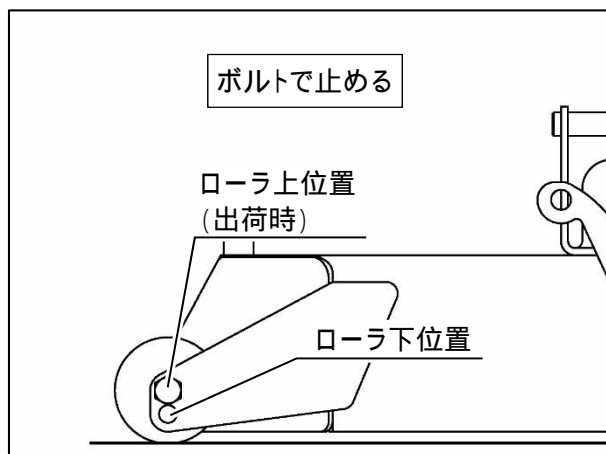
- この前輪（ガイド車輪）の高さ調整により刈り高さは30mm、50mm、70mmの3段階に調整できます。
草の高さ、密度により刈り高さを調整してください。



- 草の排出が悪い場合はローラの取付け位置を下位置に変更してください。

補 足

ローラを下位置に取り付けると、モアー後方に石が飛び出す可能性があります。
なるべくローラは上位置にして使用してください。



モア-の装着・離脱

装着・離脱時の注意



- 離脱部（アーム）の装着および離脱は、硬くて平らな地面上で、十分な広さのある場所でおこなう
- ハイクリブームとアームの間に立たない
- 可動部に体や手足を入れない
- 必要な時以外は、エンジンを停止する（OFF）
- ハイクリブームから離れるときは駐車ブレーキをかける

【守らないと】

ハイクリブームとアームの間にはさまれるなど、傷害事故につながるおそれがあります。

装着・離脱

装着

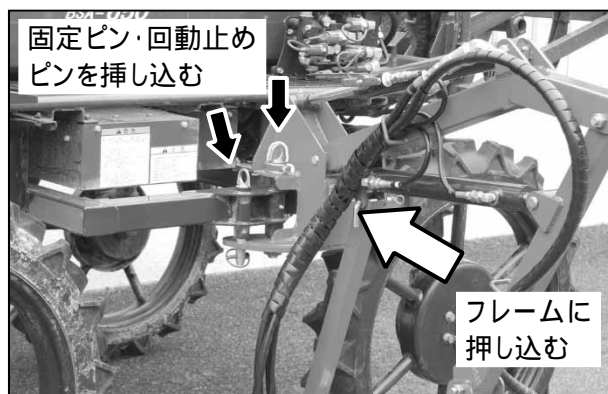
- (1) 離脱部・モアー部をハイクリブーム側へ押していき、フレームとアームフレームのピン穴を合わせる。

補足

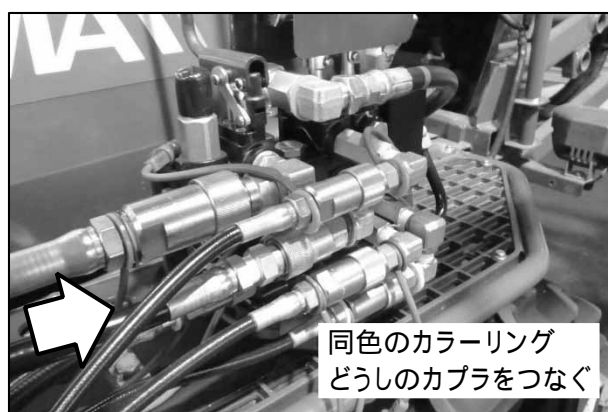
バランスをくずして離脱部を倒さないよう、モアー部を持って押してください。



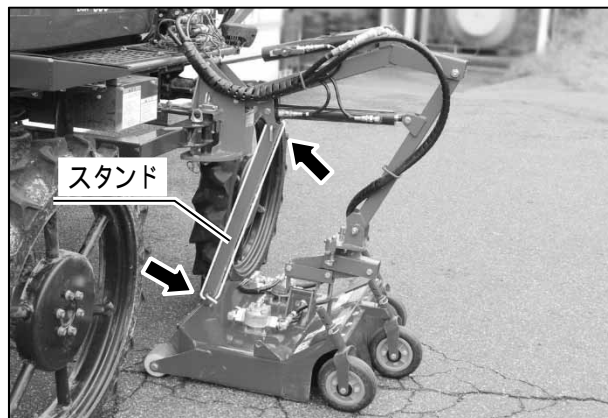
- (2) アームフレーム固定ピン、回動止めピンを取付ける。



- (3) 離脱部の油圧カプラを、対応するバルブのカプラに接続する。(カラーリングの色を参考にしてください)



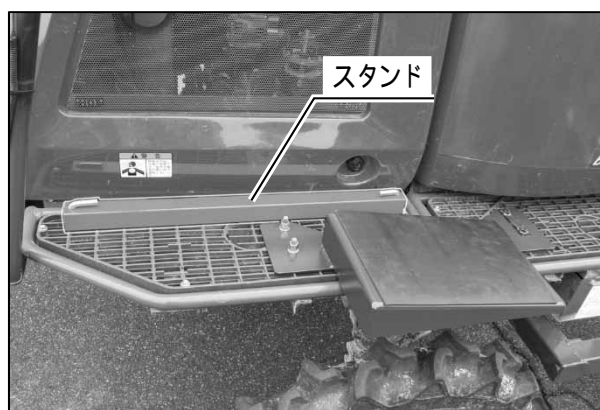
- (4) アーム1とモアーからスタンドとピンを取りはずす。



以上で装着完了です。

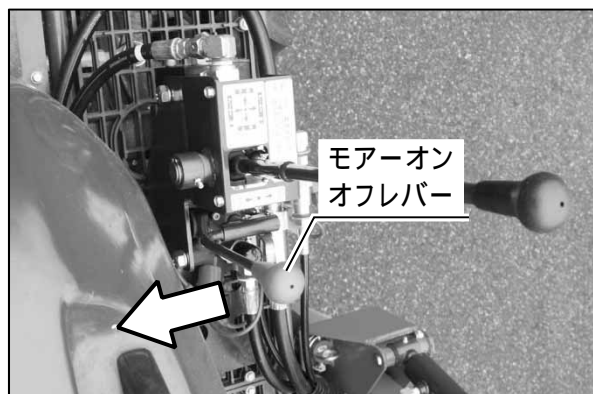
補 足

モアー装着時はスタンドをハイクリブームの右後部に取付けておくことができます。

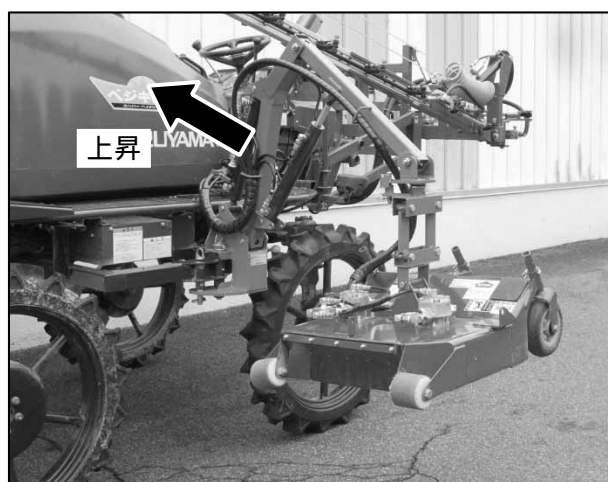


離 脱

- (1) モアーオンオフレバーをオフにし、刈り刃の回転を止める。



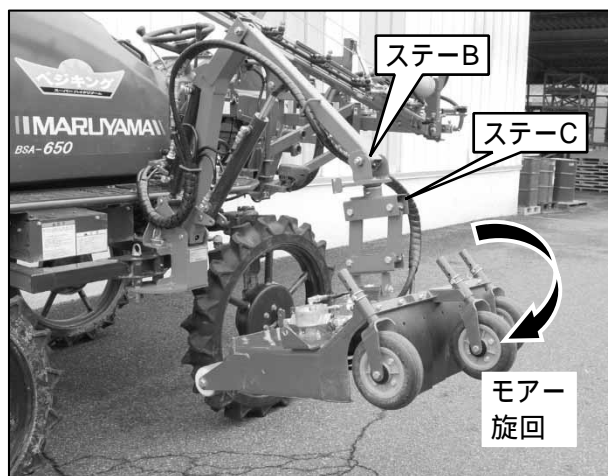
- (2) アーム1を最上昇させる。



- (3) アーム2を伸ばし、作業しやすい位置までモアーを上げる。

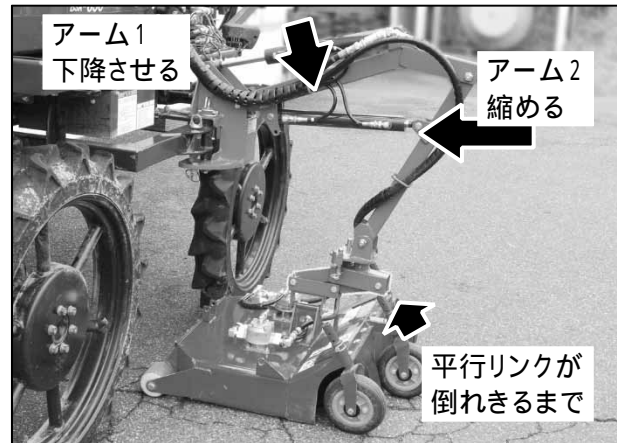
- (4) エンジンを停止する。

- (5) モアー回転ピンを2本ともはずしてモアーを90° 右に旋回させ、回転ピン1本でステーBとCを固定する。(モアーのガイド車輪が外側を向くように)



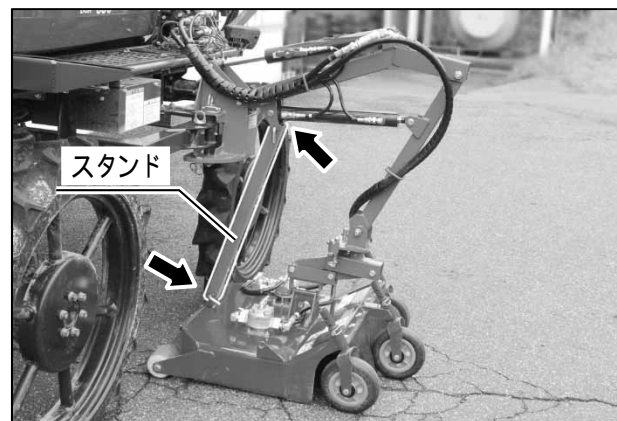
(6) アーム2を縮めきる。

(7) アーム1を下降させる。(平行リンクが写真の向きに倒れきるまで)



(8) 操作レバーを前後左右に倒し、シリンダ内の残圧を抜く。

(9) スタンドとピンを使用し、アーム1とモーターを連結する。

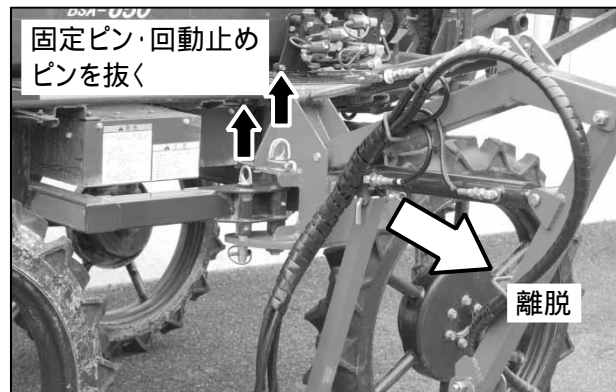


(10) 油圧カプラをバルブから全てはずし、キャップをはめる。



(11) アームフレーム固定ピン、回転止めピン
を取りはずす。

(12) 離脱部・モア一部を白矢印の方向へ引い
て離脱させる。



以上で離脱完了です。

使用前の点検

- (1) 点検は平坦な場所で必ずモアーを接地させ、ハイクリブームのエンジンを停止し、操作レバーを「中立」に、モアーオンオフレバーを停止位置（引き上げ）にし、駐車ブレーキをかけてからおこなってください。
また、刈り刃は直接素手でさわらないでください。（革手袋等の保護具および付属のナイフプロテクタを使用すること）
- (2) モアーを使用する前には、必ず下記の項目について点検してください。
- 各ボルト・ナット類の締付けは確実か。
（適正締付トルクで締付ける。55～56 ページ参照）
 - モアーのオイルは適正量が入っているか。
 - モアーのオイルは汚れていないか。
 - モアーのオイルフィルターに目づまりはないか。汚れていないか。
 - ホース金具・継手類の締付けは確実か。
 - ホース・継手からの油もれはないか。
 - タイヤの空気圧は適正か。
 - 安全カバーは所定の箇所に取り付けられているか。
 - ホースに亀裂・損傷はないか。
 - 各溶接部に亀裂・割れはないか。
 - グリスアップをすべてのグリスニップルにおこなったか。また、注油箇所に注油したか。
 - 刈り刃は変形・損傷・摩耗・脱落していないか。
 - 各部のピンは確実に組付けられているか。
 - ハイクリブームのクラクション・ライト・ウインカー等が正しく、確実に機能するか。
 - ハイクリブームのラジエータ・防虫網にほこりやゴミがたまっていないか。
 - モアーのフラップ（ゴムカバー）は損傷していないか。
- (3) 点検内容詳細については51～54 ページを参照してください。

草刈り作業について

注意

- 草刈り作業中、ロータリカバー内の刈り刃は高速回転しており危険です。絶対にロータリカバー内に手足をいれないでください。
- 作業中、刈り刃に針金・ビニール・布等が巻き付いた場合、速やかにコントロールバルブのモア－オンオフレバーをオフにし、ハイクリブームのエンジンを停止し、刈り刃の回転が完全に停止したことを確認してから針金・ビニール・布等を取り除いてください。

【守らないと】

傷害事故につながるおそれがあります。

取扱注意

- 草刈り作業中、刈り刃に草がからまり刈り刃が停止することがあります。ひんぱんに刈り刃が停止する場合は、二度刈りしてください。（45 ページ参照）

【守らないと】

油温が上昇し、油圧ポンプ・モータが破損するおそれがあります。

- (1) 草刈り作業は車速 0.7 ~ 1.5 km/h 以下でおこなってください。ただし、草の種類・長さに合わせて走行速度を調整してください。
- (2) 草刈り作業開始時、最初はエンジン回転数はアイドリングで刈り刃をゆっくりと回転させる。
徐々にエンジン回転数を上げていき、**最高回転数にする。**

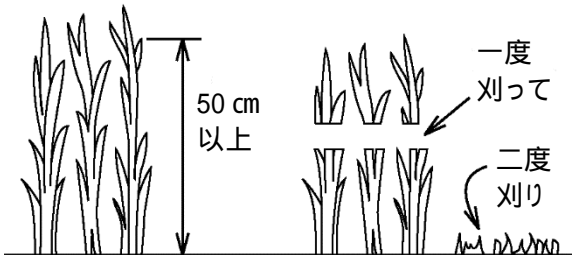
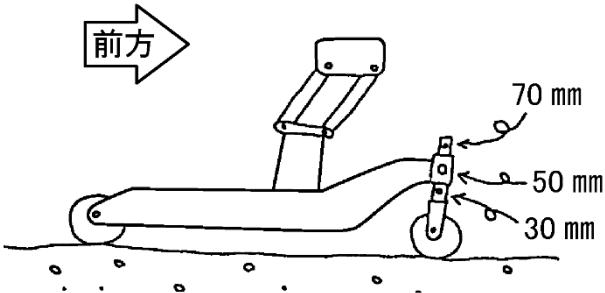
補 足

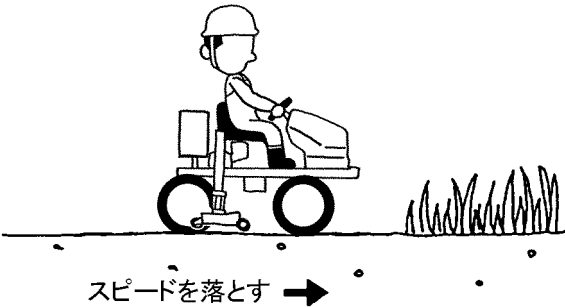
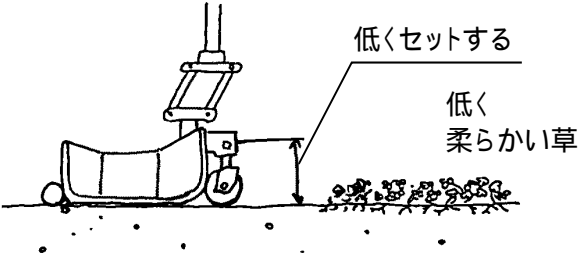
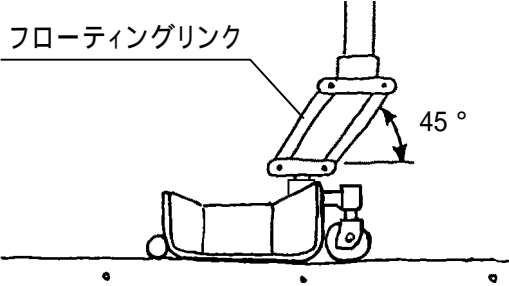
- 草の量が多いと刈り刃が回転しないことがあります。この場合、モア－を少し浮かせてください。
- ハイクリブームのエンジン回転数が高速の状態（刈り取り時の回転数にセットした状態）でモア－を始動させないでください。モア－本体や油圧モータ等の寿命を縮める原因になります。

- (3) モア－部は地面と水平に接地させてください。

- (4) モア一部が切り株や岩、柱等の障害物に当たらないよう注意してください。
- (5) モアのアームが障害物に当たった場合、ただちにハイクリブームを停止してください。
- (6) フロントフラップ（ゴムカバー）およびリヤフラップははずさないでください。
また、（空き缶、石等の飛びはね防止のため）破損したらすぐに交換してください。
- (7) 寒い時期に使用するときは、10分程度の暖機運転をしてください。

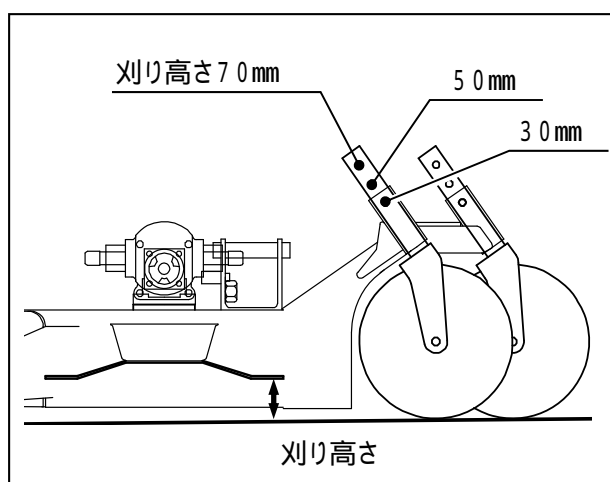
モアの上手な使い方

上手に草刈りするポイント	アドバイス
<p>草高さは30 ~ 40cmで刈れば効率よく作業できます。</p>	<p>草丈が高いときは、一度上部をカットして、二度刈りしてください。</p> 
<p>モアの接地状態は前下がりの姿勢にしてください。ローラ（後輪）側が高くなれば刈った草の排出がよくなります。 刈り高さは前輪（ガイド車輪）で調整してください。30mm、50mm、70mmの3段階の高さ調節が可能です。 （調整方法は36ページ参照）</p>	<p>後方を高くすることにより、刈った草の排出がよくなります。</p>  <p>石の多いところでは刈り高さを高くして作業してください。</p>

上手に草刈りするポイント	アドバイス
<p>草丈が高いときは刈り高さを高くして、作業速度はゆっくりとおこなってください。</p> <p>50 cm以上の草丈の場合は二度刈りをおこなってください。</p>	<p>作業速度は0.7 ~ 1.5km/hでおこなってください。</p> 
<p>クローバ等の柔らかい草は刈り高さを低くして作業してください。 (調整方法は36ページ参照)</p>	<p>地面をはうような、丈が低く柔らかい草は刈り高さを低くすると有効です。</p> 
<p>フローティングリンクは約45°の姿勢でモアーを接地させて作業してください。</p>	<p>地面が凹凸であってもモアーが上下に追従して均一な刈り高さで仕上げられます。</p> 

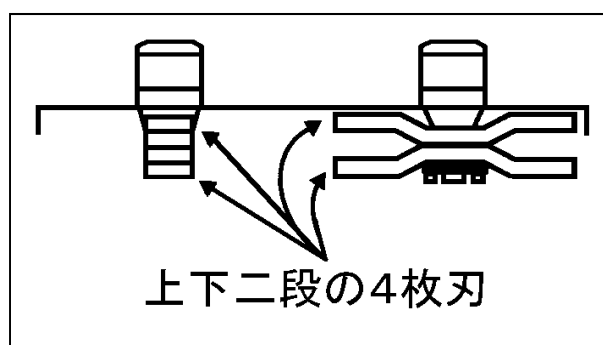
刈り高さと走行速度

草 丈	走 行 速 度	刈り高さ
30cm 以下	1.5 km/h 以下	70mm、50mm、30mmで調整可
50cm 以下	0.7 km/h 以下	70mm、50mmで調整 短く刈る場合は二度刈り
50cm 以上	二度刈り	70mm 短く刈る場合は二度刈り



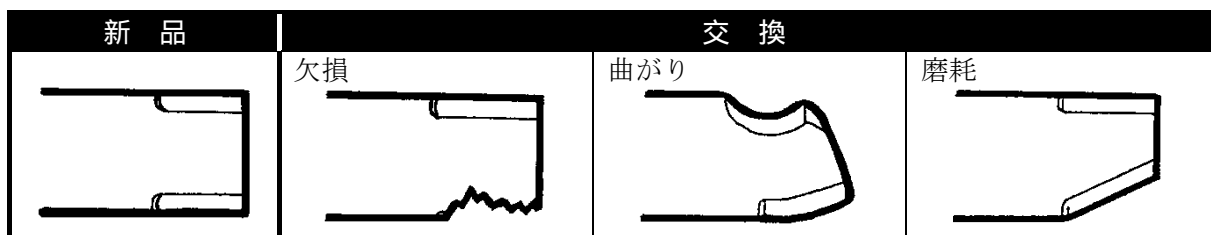
上下二段の4枚刃

- 刈り刃は上下二段の4枚刃方式ですので、草が細断され排出は良好です。
- 刈り刃はローテーション（左右の交換と上下の交換）することにより、より有効により長く使用することができます。



刈り刃の交換

- モア一部に振動が発生する場合は、刈り刃の異常が考えられますので、すぐにハイクリブームのエンジンを停止して刈り刃を点検し、下図のような状態になっていたら交換してください。



- 刈り刃を横から見て反りが5 mm以上ある場合も交換してください。



刈り刃の交換要領

注意

修理・点検・整備などをおこなうときは

硬くて平らな場所で

コントロールバルブのモア－オンオフ
レバーをオフにし、

ハイクリブームの駐車ブレーキをかけ、
ハイクリブームの走行レバーを「中立」
の位置にして、

ハイクリブームのエンジンを停止し（O
FF）

エンジンのキーを抜く

刈り刃等の回転部が完全に停止した後で作
業する

作業終了後、取りはずしたカバー類は必ず元
通り取付ける

作業中は「修理中」「点検中」「整備中」等
の看板をよく見える場所にかけておく

【守らないと】

アームが下降したりハイクリブームが走り出
し、傷害事故となるおそれがあります。

注意

- 刈り刃は直接素手でさわらず、革手袋等の保
護具および付属のナイフプロテクタを使用
する

【守らないと】

傷害を負うおそれがあります。

取扱注意

交換後、刈り刃を手でゆっくり回し、両面の刃
が干渉しないか確認する

【守らないと】

刈り刃の破損につながります。

エンジンを停止し（OFF）、刈り刃の回転が完全に停止してから革手袋等をはめて交換すること。

補 足

交換時は刈り刃の刃先に付属のナイフプロテクタを装着し、直接素手で刃を握らないこと。

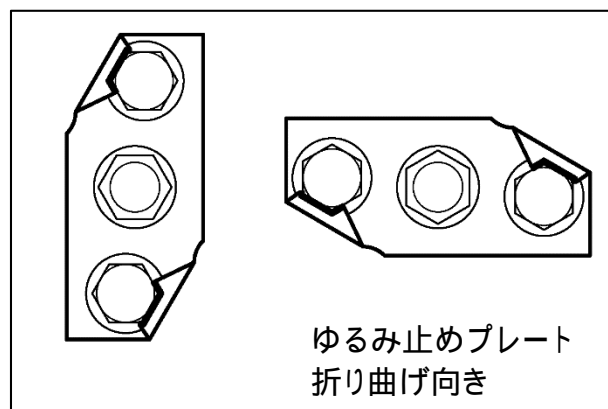
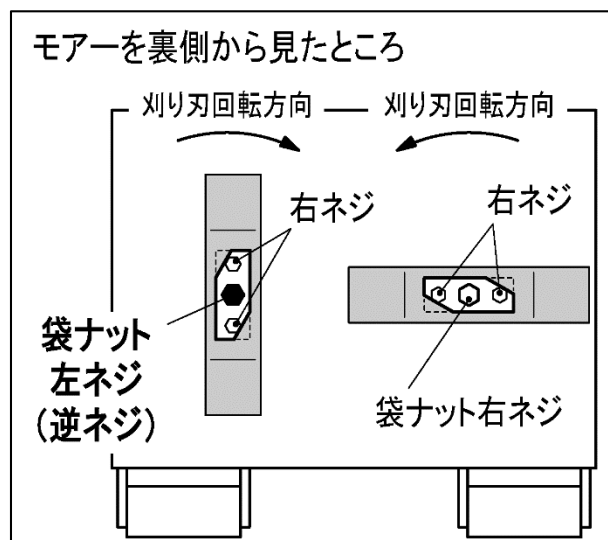
刈り刃取付ボルトにはゆるみ止めプレートを使用し、締付トルク [28.4 ~ 36.3 N・m (290 ~ 370 kgf・cm)] で締付ける。

取扱注意

- 縦軸用袋ナット（専用）には右ネジと左ネジがあります。締付方向に注意してください。
- 刈り刃取付ボルトは専用ですので、必ず純正部品を使用してください。市販類似品は使用しないでください。

ゆるみ止めプレートを取り付けた後、マイナスドライバー等で角部を折り曲げ、取付ボルトが回らないようにする。

以上で、交換完了です。



点検整備について

作動油について

- 油圧作動油は、VG 4 6 相当品を使用してください。
- 使用前に必ず油量の点検をしてください。

リリースバルブについて（コントロールバルブに使用しています）

- リリースバルブの設定圧力は、絶対に変更しないでください。

モアの刈り刃について



注意

刈り刃の点検・整備などをおこなうときは

コントロールバルブのモアオンオフレバーをオフにし、
ハイクリブームのエンジンを停止し（OFF）
エンジンのキーを抜く

刈り刃等の回転部が完全に停止した後で作業する

【守らないと】

傷害事故となるおそれがあります。

- モア一部が初期状態と比較して振動が激しくなっていないか確認してください。

【振動の原因】

- a) 刈り刃に、つる・針金・ナイロン等がからみついている。
- b) 刈り刃が折れている。または変形している。
- c) カバー等の溶接部が破損している。
- d) 刈り刃締付ボルト（ナット）がゆるんでいる。

【対処方法】

- a) 刈り刃にからみついている物を取りのぞく。

取扱注意

取りのぞくときはハイクリブームのエンジンを停止し、刈り刃の回転が停止したことを確認した後におこなってください。

- b) 刈り刃がはずれていたり折れている場合、または刈り刃自体が変形している場合、ただちに刈り刃を良品と交換する。
- c) カバー等の溶接部が破損している場合、修理または交換する。
- d) 刈り刃取付ボルト（ナット）を規定の締付トルクでしっかり締め込む。
ゆるみ止めプレートを新品と交換する。

- 交換部品は全て純正部品を使用してください。純正以外の部品を使用して事故や故障が生じた場合、保証いたしかねることもあります。

- モア一部の点検は使用する前後に定期的におこなってください。

点検は必ずエンジンを停止しておこなってください。

特に刈り刃を固定しているボルト・ナットのゆるみがないか確認してください。

初期チェックは使用して2時間後におこなってください。

Vベルトの交換および調整

Vベルト張り 調整要領

ポンプステー固定ボルト (M8) を緩める。
(左右各 2 本)

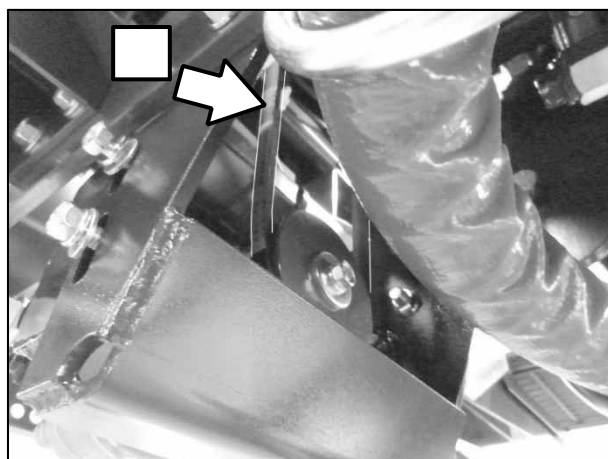
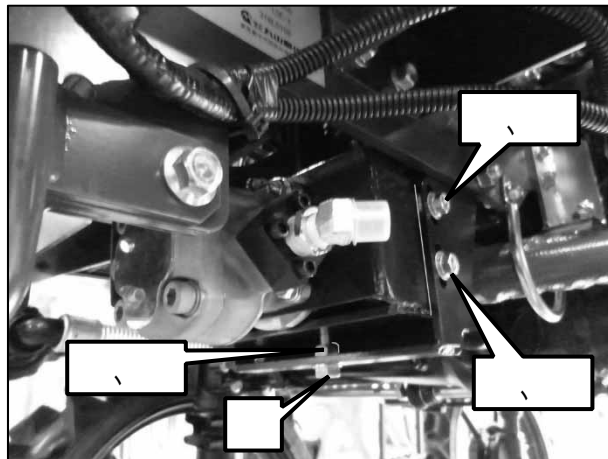
ポンプステー引きボルト (M10) を固定し、
上のナットを緩める。
(下から見て右に回すと緩みます)

引きボルトを右に回してポンプステーを引
つ張る。

Vベルト (3V-315) の張り調整をする。
(Vベルトを約 6.5kgf で押さえた時のたわ
み量が 3.5 mm 程度なら適正です)

ナットを締めて引きボルトを固定する。

ポンプステー固定ボルトを締め、ポンプス
テーを固定する。



Vベルト張り 交換要領

ポンプステー固定ボルト (M8) を緩める。
(左右各 2 本)

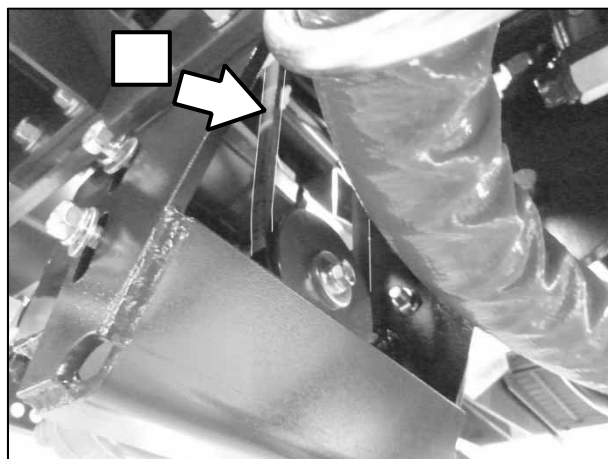
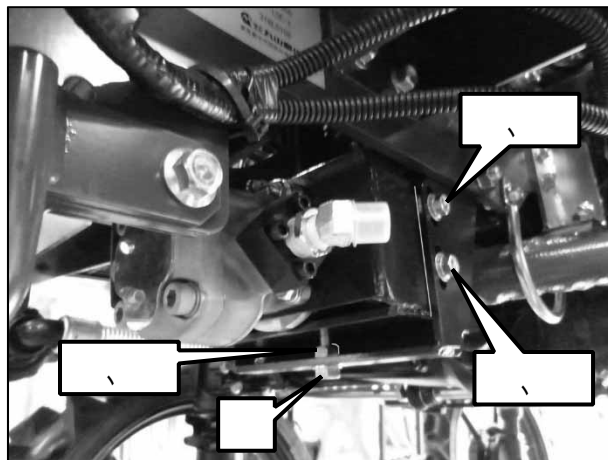
ポンプステー引きボルト (M10) を固定し、
上のナットを緩める。
(下から見て右に回すと緩みます)

引きボルトを左に回して緩める。ポンプス
テートを押し上げ、Vベルト (3V-315) を新
品に交換する。

引きボルトを右に回してポンプステーを引
っ張り、Vベルトの張り調整をする。
(新品の場合、Vベルトを約 7.5kgf で押さ
えた時のたわみ量が 3.5 mm 程度なら適正で
す)

ナットを締めて引きボルトを固定する。

ポンプステー固定ボルトを締め、ポンプス
テートを固定する。



補 足

Vベルトを新品に交換した場合、数時間でV
ベルトがゆるむ場合があります。(初期伸び)
草刈り能力の低下やベルトのスリップ音の
有無にかかわらず、Vベルトを新品に交換し
た後は、こまめにベルトの張りを確認してく
ださい。

点検整備一覧表

- 皆様に機械を長くご愛用していただくために、また作業をスムーズにするため、下記の点検を心がけてください。
- グリスはリチウムグリス J I S分類番号2号相当品をご使用ください。
- 点検・調整をするときは、必ずハイクリブームのエンジンを停止 (OFF) し、エンジンキーを抜いてからおこなってください。なお、ハイクリブームの点検についてはハイクリブームの取扱説明書をご覧ください。
- 刈り刃の欠損等、使用部品の損傷がございましたら、ただちに良品に交換してください。

点検項目		点検時間 (サービスメータ)	始業時	始めの 2 時間	始めの 50 時間	始めの 100 時間	50 時間毎	100 時間毎	200 時間毎
点 検 ・ 補 給	刈り刃の点検		○						
	ポンプ用細幅Vベルトの点検		○	○			○		
	各部ボルト・ナットのゆるみ点検・増締め (特に刈り刃止めボルトのゆるみ)		○	○			○		
	各部ピンの摩耗		○				○		
	ホースの曲げ・ねじれ・表面のキズ (2年毎に交換)		○						
	油もれの点検		○						
	作動油量		○						
給 脂	回転軸 (グリスアップ)		○						
	モーターに使用している全てのピン・グリスニップル (グリスアップ)		○						
	モーター回動部 (グリスアップ)		○		○		○		

適正締付トルク表

1. 組付・点検・修理などをおこなう場合、ボルト・ナットは規定の締付トルクで締付けてください。
 [下表／単位は上段：N・m（下段：kgf・m）]

取扱注意

- ボルトの材質は、ボルトの頭に打刻してある数字で見分けます。
- 締付ける前に必ず打刻数字を確認し、下表に従って締付けをおこなってください。
- 組付面や組付けのボルト・ナット・座金には油をつけないでください。

呼び径	4 T, 4. 6, 4. 8		7 T, 8 T, 8. 8		11T, 10. 9	
	並目ネジ	細目ネジ	並目ネジ	細目ネジ	並目ネジ	細目ネジ
M5	2.8 ~ 4.0 (0.29 ~ 0.41)	----- -----	4.9 ~ 6.9 (0.5 ~ 0.7)	----- -----	6.7 ~ 9.4 (0.68 ~ 0.96)	----- -----
M6	4.6 ~ 6.9 (0.5 ~ 0.7)	----- -----	8.3 ~ 11.3 (0.85 ~ 1.15)	----- -----	11.8 ~ 15.7 (1.2 ~ 1.6)	----- -----
M8	12.8 ~ 16.7 (1.3 ~ 1.7)	----- -----	22.6 ~ 28.4 (2.3 ~ 2.9)	----- -----	28.4 ~ 36.3 (2.9 ~ 3.7)	----- -----
M10	25.5 ~ 33.4 (2.6 ~ 3.4)	39.2 ~ 45.1 (4.0 ~ 4.6)	44.1 ~ 55.9 (4.5 ~ 5.7)	48.1 ~ 55.9 (4.9 ~ 5.7)	54.0 ~ 69.7 (5.5 ~ 7.1)	60.8 ~ 70.6 (6.2 ~ 7.2)
M12	37.3 ~ 47.1 (3.8 ~ 4.8)	62.8 ~ 72.6 (6.4 ~ 7.4)	65.7 ~ 83.4 (6.7 ~ 8.5)	77.5 ~ 90.2 (7.9 ~ 9.2)	92.2 ~ 116 (9.4 ~ 11.8)	103 ~ 118 (10.5 ~ 12.0)
M14	62.8 ~ 80.4 (6.4 ~ 8.2)	108 ~ 126 (11.0 ~ 12.8)	104 ~ 132 (10.6 ~ 13.4)	124 ~ 147 (12.6 ~ 15.0)	139 ~ 175 (14.2 ~ 17.8)	167 ~ 196 (17.0 ~ 20.0)
M16	86.3 ~ 110 (8.8 ~ 11.2)	167 ~ 191 (17.0 ~ 19.5)	149 ~ 184 (15.2 ~ 18.8)	196 ~ 226 (20.0 ~ 23.0)	206 ~ 226 (21.0 ~ 26.0)	260 ~ 304 (26.5 ~ 31.0)
M18	114 ~ 141 (11.6 ~ 14.4)	245 ~ 284 (25.0 ~ 29.0)	196 ~ 235 (20.0 ~ 24.0)	275 ~ 319 (28.0 ~ 32.5)	275 ~ 334 (28.0 ~ 34.0)	343 ~ 402 (35.0 ~ 41.0)
M20	144 ~ 180 (14.7 ~ 18.3)	333 ~ 392 (34.0 ~ 40.0)	240 ~ 289 (24.5 ~ 29.5)	368 ~ 432 (37.5 ~ 40.0)	363 ~ 442 (37.0 ~ 45.0)	490 ~ 569 (50.0 ~ 58.0)
M22	200 ~ 220 (20.4 ~ 22.4)	----- -----	----- -----	----- -----	----- -----	----- -----

2. 管用ネジやホース先端金具（ユニオン部）は、全長 175mm 程度のスパナ・モンキーを使用して規定の締付トルクで締付けてください。（下表）

取扱注意

締め過ぎますとネジがつぶれ、油もれの原因となります。

管用テーパネジの場合

サイズ	締付トルク	
	N・m	kgf・m
NPTF1/16	4.9～9.8	(0.5～1.0)
R1/8	9.8～14.7	(1.0～1.5)
R1/4	29.4～39.2	(3.0～4.0)
R3/8	49.1～58.9	(5.0～6.0)
R1/2	58.9～78.5	(6.0～8.0)
R3/4	98.1～118	(10.0～12.0)
R1	118～137	(12.0～14.0)
R1・1/4	196～235.2	(20.0～24.0)

管用平行ネジの場合

サイズ	締付トルク	
	N・m	kgf・m
G1/8	9.8～14.7	(1.0～1.5)
G1/4	24.5～39.2	(2.5～4.0)
G3/8	49.1～58.9	(5.0～6.0)
G1/2	58.9～78.5	(6.0～8.0)
G3/4	98.1～118	(10.0～12.0)
G1	118～137	(12.0～14.0)

補 足

ホース先端金具（ユニオン部）の締付トルクも上表と同じです。

保管方法

一定期間使用しない場合、再使用時に以前と同じ性能を発揮させるためには機械の保管に十分注意する必要があります。

保管前

- 1) 乾燥した屋内に保管する。
- 2) 万一、屋外に保管する場合は、できるだけ平坦地（コンクリート等）に木材を敷いた上に置き、シートをかぶせる。
- 3) 長い間使用しない場合、シリンダロッドの露出部には防錆グリスを塗る。
- 4) 土・油・ゴミをきれいに拭き取って保管する。
- 5) 回転部・摺動部の掃除をおこない、給脂・注油する。
- 6) 機械の各部にゆるみがないか、欠品がないか確認する。
必要に応じて締付けまたは交換する。

保管中

- 7) 月に一度はハイクリブームにモアーを装着し、油圧関係に作動油が行きわたるようにする。

保管後

- 8) ボルト・ナット等がゆるんでいないか確認する。
- 9) すべてのグリスニップルに給脂する。
- 10) シリンダのロッドに塗布しておいた防錆グリスをふき取る。
- 11) 錆び付いている箇所をきれいにする。
- 12) 油漏れ箇所を点検し、もれている部分は増締めする。
- 13) ホースが劣化していないか確認し、劣化していたら交換する。
- 14) 各部のオイル量、水量等を確認した後でエンジンを始動する。
- 15) 長期間放置した後でシリンダを作動させるときは、ゆっくりと3～4回作動させてください。
急激に作動させるとパッキンの破損につながります。
- 16) バルブの切り替えがスムーズに作動するか確認する。
スムーズに作動しない場合、ゴミがつまっている恐れがあります。

消耗部品と交換時期

品 名	交換時期 (作業時間)	品 番
刈り刃	100時間使用毎	80 - 1516 - 821 - 000 (1個, 4個/台)
油圧ホース	2年毎に交換する	お問い合わせください。
作動油	200時間毎	I S O V G 4 6 相当 : 2 0 L
フラップ	500時間使用毎	C30293010 - 1 (フロントフラップA, 1枚, 1枚/台) C30293110 - 1 (フロントフラップB, 1枚, 1枚/台) C30293310 - 1 (リヤフラップA, 1枚, 1枚/台) C30293410 - 1 (リヤフラップB, 1枚, 1枚/台)
細幅Vベルト	適宜	A315200130 (3V - 315)

補 足

上記の数値はあくまでも目安です。刈り草・場所によりこの数値は異なってきます。

トラブルシューティング

- 万一、モア-の調子がおかしい・具合が悪い等を感じた場合、次ページにより点検し、適切な処置をしてください。

点検をおこなう前に



硬くて平らな場所でモア-を接地させ、ハイクリブームの駐車ブレーキをかけてエンジンを停止 (OFF) し、エンジンキーを抜いてください
エンジンを作動中に点検・修理する場合、モア-の作業範囲内に入らないでください
モア-の下に入らないでください

【守らないと】

モア-に当たったり、下敷きになり死傷するおそれがあります。

点検中の注意

- (1) モア-の型式および機番を確認し。不具合の内容を詳細にメモしてください。
(後で連絡するときに便利です)

点検後

- (1) 点検・処置してもなお、原因がわからない・正常にならない場合は、本製品お買い上げの「販売店」またはお近くの農協 (JA) またはサービス工場までお問い合わせください。
- (2) 油圧部品、特にバルブ等は精密部品ですので、分解・修理は専門の技術サービスマンにお任せください。

1. モア-本体

現象	原因	処置
油圧接続部からの油もれ	接続部がゆるんでいる	接続部を締める
油温の上昇が激しい	オイルフィルターの目がつまっている	オイルフィルターの交換
	モア-にひんぱんに草がからまり停止する	からんだ草を取りのぞく 車速を落とす 刈り高を高くする 二度刈りする
	作動油が少ない	作動油を適正量まで追加
アームとモア-の両方が作動しない	ポンプ破損	ポンプ交換
	オイルがレベルより少ない	オイルをレベルまで入れる
	Vベルトの損傷	Vベルト交換
アームは作動するがモア-は作動しない	油圧モータ破損	油圧モータ交換
	エンジンの回転数が低い	適正回転数まで エンジン回転を上げる
動きが遅い (全シリンダの力不足)	エンジンの回転数が低い	適正回転数まで エンジン回転を上げる
	オイル量が少ない	オイル注入
	オイルが汚れている	オイル交換
	ポンプ効率の低下	ポンプ交換
	Vベルトのゆるみ	Vベルトの調整 (張りなおし)

2. モア

現象	原因	処置
刈り刃が回転しない 異音がする	エンジンの回転数が低い	適正回転数まで エンジン回転を上げる
	刈り刃に何かがからんでいる	からんでいるものを取り除く
	油圧モータ破損	油圧モータ交換
	各部ボルト脱落	正規に取り付ける

3. 草刈り作業について

現象	原因	処置
刈られていない部分 がある	刈り刃の回転が低い	適正回転数まで エンジン回転を上げる
	作業速度が速い	作業速度を落とす
	刈り高さが低すぎる	刈り高さを高くする
	刈り刃が曲がっている・ 折れている	刈り刃交換
	刈った草の排出が悪い	ローラを下位置に組みかえる (36 ページ参照)
草をひきちぎってしま う	刈り高さが低すぎる	刈り高さを高くする
	刈り刃の摩耗	刈り刃を新品と交換
作業中・刈り刃の回転 が急に止まる	刈り刃が硬い障害物に 当たっている 針金・ナイロン・つる等が からみついている	障害物やからみついているものを取 りのぞく (51 ページ参照)

補 足

草刈り作業については 44～47 ページを参照してください。